

取扱説明書

(設置工事説明書・保証書付)

このたびは、24時間風呂「ホームバス」をお買い上げいただき誠にありがとうございました。末永く安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
本書をお読みになったあとは、大切に保管してください。

ホームバス

24時間風呂

- 保証書は、必ず「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を確かめてお受け取り下さい。
- 設置工事説明書に従った正しい工事を行ってください。
- 取扱説明書、設置工事説明書の記載通りに使用および設置をされなかった場合の製品の故障、事故について、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This appliance is designed for domestic use only in Japan and cannot be used in any other countries.

ホームバスのご使用にあたって

このたびは、24時間温水浄化機器「ホームバス」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。本商品を末永く安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、本書をお読みになったあとは、大切に保管してください。

- カビ防止のため、入浴しないときは、浴槽にふたをしてください。また、ときどき窓を開けたり、換気扇を廻して浴室の湿気を取り除いてください。
- 浴槽に汚れや湯あかを付着したままにしておきますと、浄化不良や雑菌などが繁殖しやすくなり、疾病を起す原因になる事がありますので、付着した汚れや湯あかは、毎日入浴時にスポンジ等で拭き取ってください。
- 追い焚き式循環風呂釜のパイプは、本機を設置する前に市販の風呂釜洗浄剤で掃除をしてください。また、本機使用中もこまめに掃除をしてください。パイプの汚れが本機の詰りや浄化不良の原因になることがあります。
- お湯の入れ替えは、1ヶ月に1度行ってください。長期間お湯を入れ替えないと雑菌が繁殖しやすくなり、疾病を起す原因になることがあります。
- 浴槽のお湯は飲用に使用しないでください。
- 浴水には水道水をご使用ください。井戸水などをご使用になりますと、鉄分、カルシウム等により浄化不良や故障の原因になる事があります。
- 浴槽への雑菌の持込を抑えるため、入浴前にかけ湯をしてください。
- 浴槽内のお湯をシャワーに使用しないでください。浴水のエアロゾル（目に見えない水粒子）が発生した場合に雑菌を吸込み疾病を起こす原因となる場合があります。
- 浄化不良や雑菌の繁殖を抑えるため、タオルは浴槽内で使用しないでください。
- 浄化不良防止のため、入浴の際にはシャンプー、洗剤をよく洗い流し、浴槽内に持ち込まないでください。
- 体に傷・化膿している方は、患部を浴槽内のお湯につけないでください。
- 泡出し運転を使用する場合は必ず「泡出し運転のご注意・・P.4 参照」を充分ご理解いただき使用してください。
- ご家族で高血圧・糖尿病・抗生物質などの薬を服用されている方や、アトピー性皮膚炎・水虫などの薬を使用されている方などが入浴する場合、浴水が濁ったり、抗菌トップフィルターの洗浄・交換時期が通常より早まる場合があります。
- 炭酸発生装置などと併用する場合は、浴水が濁ったり、ろ材の洗浄時期が通常より早まる場合があります。
- 本機を使用することで長時間お湯を張っているため、浴槽のゴム栓など、浴水に触れているゴム部品は、通常より傷みやすい場合があります、部品交換時期も通常より早まる場合があります。
- P.22～30記載の「日常のお手入れ」を励行してください。

お客様相談室電話番号

修理、移設、商品についてのご相談は、お買い求めの販売店または下記お客様相談室にお問い合わせください。

製造元

株式会社ブライトホームサービス

フリーダイヤル



お問い合わせの通話料は無料です

0120-39-9901

受付時間 土・日・祭日を除く午前9時30分から午後5時まで

安全にご使用いただくために

■「安全上のご注意」は、お使いになる方や他の方への危害や損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載しております。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

●次の表示区分は、表示内容を守らず誤った使用をした場合に想定される危害や損害の大きさの程度の内容を「警告」「注意」の2つに区分し説明をしています。

 警告	誤った取り扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定されるもの。
 注意	誤った取り扱いにより、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されるもの。

●次の絵表示は、いづれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 注意・警告		高温の場合に備え注意していただくことを示します。
		感電に注意していただくことを示します。
 禁止		分解してはいけないことを示します。
 強制		漏電保護プラグを電源コンセントから抜いていただくことを示します。
		アースに接続が必要なことを示します。

安全上の注意事項

警告

設置・移設について



禁止

お客様ご自身での工事はしないでください。

- 本体の設置及び移設については専門の設置業者で実施いたしますので、お買い求めの販売店またはお客様相談室 (P.40参照) に依頼してください。



禁止

本機は浴室内以外で使用しないでください。

- 感電や故障の原因となります。



強制

本機を譲渡、貸与する時は、次に使用する方のために、必ずこの取扱説明書もお渡しください。

- 誤った操作により、けがをしたり火災などの原因になります。

改造・分解・修理について



禁止

本機を改造しないでください

- 感電、火災、故障の原因になります。



専門業者以外の方は、分解、修理を行わないでください。

- 感電、火災、故障、けがの原因になります。

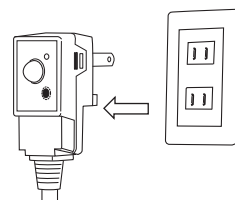
修理について



強制

異常時はすぐに運転を停止してしてください。

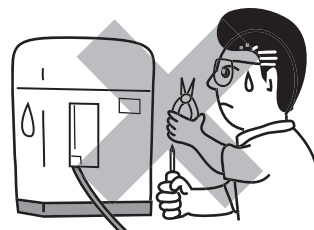
- 漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店または、お客様相談室にご相談ください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



禁止

お客様ご自身での修理はしないでください。

- お買い求めの販売店または、お客様相談室にご相談ください。修理に不備があると感電、火災、故障などの原因になります。



禁止

電源コードが破損したときは、お客様ご自身での交換や修理はせずに、必ずお買い求めの販売店または、お客様相談室にご相談ください。

安全上の注意事項

警告

事故防止について



禁止

小さなお子様だけで浴室に入れないでください。

- 一日中浴槽にお湯が満たされており、おぼれたり、けがの原因になります。



強制

湯かげんを確かめてから入浴またはお手入れをしてください。

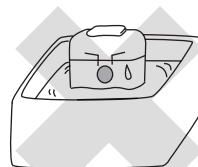
- やけどのおそれがあります。



禁止

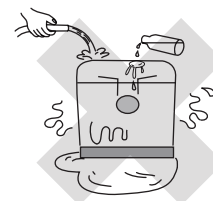
本機は完全防水ではありませんので浸水させないでください。感電、故障のおそれがあります。

- 万一浸水させた場合は漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて、販売店またはお客様相談室(P.36参照)にご相談ください。



本機に多量の水をかけないでください。

- 感電、火災や事故の原因になります。



漏電保護プラグについて



禁止

漏電保護プラグは、コードを上向きにして電源コンセントに差し込まないでください。

電源コンセントは、なるべく他の器具と併用しないでください。

- 発熱や火災、故障の原因になります。



禁止

浴室内及び屋外の電源コンセントを使用しないでください。

- 感電や漏電、故障の原因になります。



禁止

濡れた手で漏電保護プラグを引き抜いたり、コードを持って引き抜いたりしないでください。

- 感電や漏電、故障の原因になります。



強制

漏電保護プラグのテストボタンで、月1回必ず動作テストを実施してください。

- 動作不良があると感電、故障の原因になります。

安全上の注意事項



警告

泡出し運転のご注意



以下の事は体調を損なうことがありますので必ずお守りください。

強制

- 医師の治療を受けているときは、医師にご相談の上お使いください。
- 医師に温浴およびマッサージを禁止されている方は、ご使用を避けてください。
- 泡を目、口や耳、鼻に当てないで下さい。特に、小さなお子様やお年寄りにはご注意ください。
- 妊娠中の方や心臓障害のある方、急性（疼痛性）疾患のある方、悪性腫瘍のある方熱のある方は、ご使用を避けてください。

■ ご使用後、体調に異常が生じた場合は、医師にご相談ください。

安全上の注意事項

注意

浴槽・浴室に影響あり



強制

浴槽の材質を確認せず本機を設置しないでください。

- お客様の浴槽が、24時間風呂対応浴槽、ステンレス、タイル、天然石以外の浴槽では、浴水を長時間貯めて継続使用しますと、まれに浴槽表面に膨れ、荒れ、変色が起こる場合があります。



禁止

浴槽の金属部にステンレス製の部品以外を使わないでください。

- 浴槽内に使われている排水口やチェーンなどの金属部は水質によりメッキがはがれてさびることがあります。

事故防止のために

■ ご使用にあたっては、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。



強制

体調に異常を感じた場合は、使用を中止し、医師にご相談ください。

- 湿疹、かゆみの原因になることがあります。



禁止

浴水吸込口に手や足、髪の毛などを近づけないでください。

- ケガ、故障の原因になることがあります。



禁止

本機が運転中に浴槽に潜らないでください。

- 吸込口に毛髪が吸込まれるおそれがあります。



禁止

吸込口のカバー等が緩んだ状態又は外れた状態で運転しないでください。

- ケガ、故障の原因になることがあります。



禁止

トップフィルターカバーに手や足、髪の毛などを近づけないでください。

- ケガをしたり、故障の原因になります。

安全上の注意事項

注意

事故防止のために



禁止

トップフィルターカバーやケースを外したまま使用しないでください。

● ケガをしたり、故障の原因になります。



禁止

紫外線ランプは濡れた手で交換しないでください。また、割らないように注意して取扱ください。

● 割れるとケガをするおそれがあります。



禁止

紫外線ランプの光は絶対に見ないでください。

● 目を傷める原因になります。



禁止

浴槽のお湯を飲まないでください。

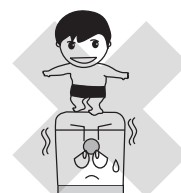
● 健康障害の原因になることがあります。



禁止

本体の上に乗ったり、重量物を置いたり、押したり引っ張ったりしないでください。

● ケガ、故障、破損の原因になることがあります。



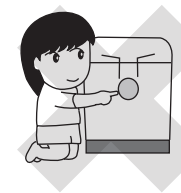
本体取扱上の注意について



禁止

操作部はお子様がいたずらしないようにご注意ください。

● 誤作動や故障するおそれがあります。



強制

本体の固定（転倒防止）を確認してください。

● 転倒してケガ、故障、破損の原因になることがあります。



強制

寒冷地でご使用の方へ

● 冬期に運転を停止し、長期間放置する場合は、必ず本機の水抜きを実施して漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。凍結により本機に損傷を受け故障の原因になります。(P.34参照)

快適にお使いいただくために

本体・浴槽のお手入れについて

- 本体の汚れは、中性洗剤や浴槽洗剤をうすめ、絞った雑布などで拭いてください。
シンナー、アルカリ洗剤、カビ除去剤などの化学薬品は本体を変色させるおそれがありますので使用しないでください。
- ご使用初期、浄化が安定するまでの間、お湯が濁ったり臭いやヌメリが発生する場合がありますが、異常ではありません。
通常1～2週間でお湯はきれいになります。万一濁りが継続する場合お湯を入れ替えてください。
- 浴槽のフチに付いた汚れやヌメリは、毎日スポンジなどで軽く拭き取ってください。
浴槽のふたは定期的に洗剤で洗ってください。
汚れが付着する事により、臭いなどの原因となります。

日常のお手入れについて

- 入浴しないときは必ず浴槽のふたを閉めてください。又、換気を充分に行ってください。
天井、壁のカビ発生の原因になります。
- 入浴剤などは、お湯の浄化や本体内部部品に悪影響を与えることがありますので指定の入浴剤以外は使用しないでください。
指定の入浴剤は販売店におたずねください。
- 浴槽のお湯は常に、出水口より上に保ってください。
異常音がしたり、浴水の浄化ができないことがあります。
- 冬期など浴室内温度が低い場合は、45℃など高い温度で保温できないことがあります。
追い焚きや給湯をして好みの温度に調整してください。
- 井戸水をご使用になると鉄分、カルシウムなどによりろ過不良となったり、ろ材・配管の詰りを誘発する場合がありますので使用しないでください。

ろ材・配管のお手入れについて

- ろ材・配管の洗浄は2ヶ月～6ヶ月に1度実施してください。
- 2ヶ月～6ヶ月に1度の洗浄時期以前に吹出し水流が弱くなった場合、ろ過が十分に行われなくなった場合は、早めにろ材・配管の洗浄を行ってください。
洗浄方法については「日常のお手入れのP. 22～30」を参照してください。

ご使用にあたって	表紙裏
安全にご使用いただくために	1
安全上の注意事項	2
快適にお使いいただくために	7

取扱説明書

目次	8
各部の名称	
■ 1 本体と電源	10
■ 2 泡出しユニット	11
■ 3 付属品	11
パネルの名称とはたらき	
本体操作パネル	12
運転方法	
■ 1 運転開始の手順	13
■ 2 呼び水の方法	14
■ 3 運転停止の手順	15
操作方法	
■ 1 温度調節のしかた	16
■ 2 熱殺菌のしかた	17
① 自動熱殺菌	17
② 熱殺菌を途中終了したいとき	18
③ 熱殺菌を手動で開始したいとき	18
その他の機能について	
■ 1 泡出し運転のしかた	19
■ 2 湯温制御運転について	19
浴水の浄化について	
初期浄化を早く安定させるには	20
上手なご使用方法	
電気料金の節約	21

目次

取扱説明書

日常のお手入れ

■ 1 各部のお手入れ一覧	22
■ 2 定期メンテナンス契約	22
■ 3 毎日・・トップフィルターの洗浄	23
■ 4 毎日・・浴槽内の清掃	23
■ 5 10日・・風呂水清浄剤の投入	23
■ 6 トップフィルターケースの掃除	24
■ 7 泡出しユニット吸込口の掃除	24
■ 8 3～6ヶ月・・ろ材の洗浄	25
■ 9 3～6ヶ月・・本体・配管などの洗浄	27
■ 10 3～6ヶ月・・風呂釜の洗浄	29
■ 11 9～12ヶ月・・紫外線ランプの交換	29
■ 12 1ヶ月・・漏電保護プラグの点検	30
■ 13 1ヶ月・・浴水の交換	30

お知らせ

■ 1 浴水に濁り臭いがあるときは	31
■ 2 故障かなと思ったときは	32
■ 3 本体の異常表示とお知らせ表示	33
■ 4 長期間ご使用にならないときには	34

仕様

■ 1 本体の仕様	35
-----------	----

アフターサービスについて	36
--------------	----

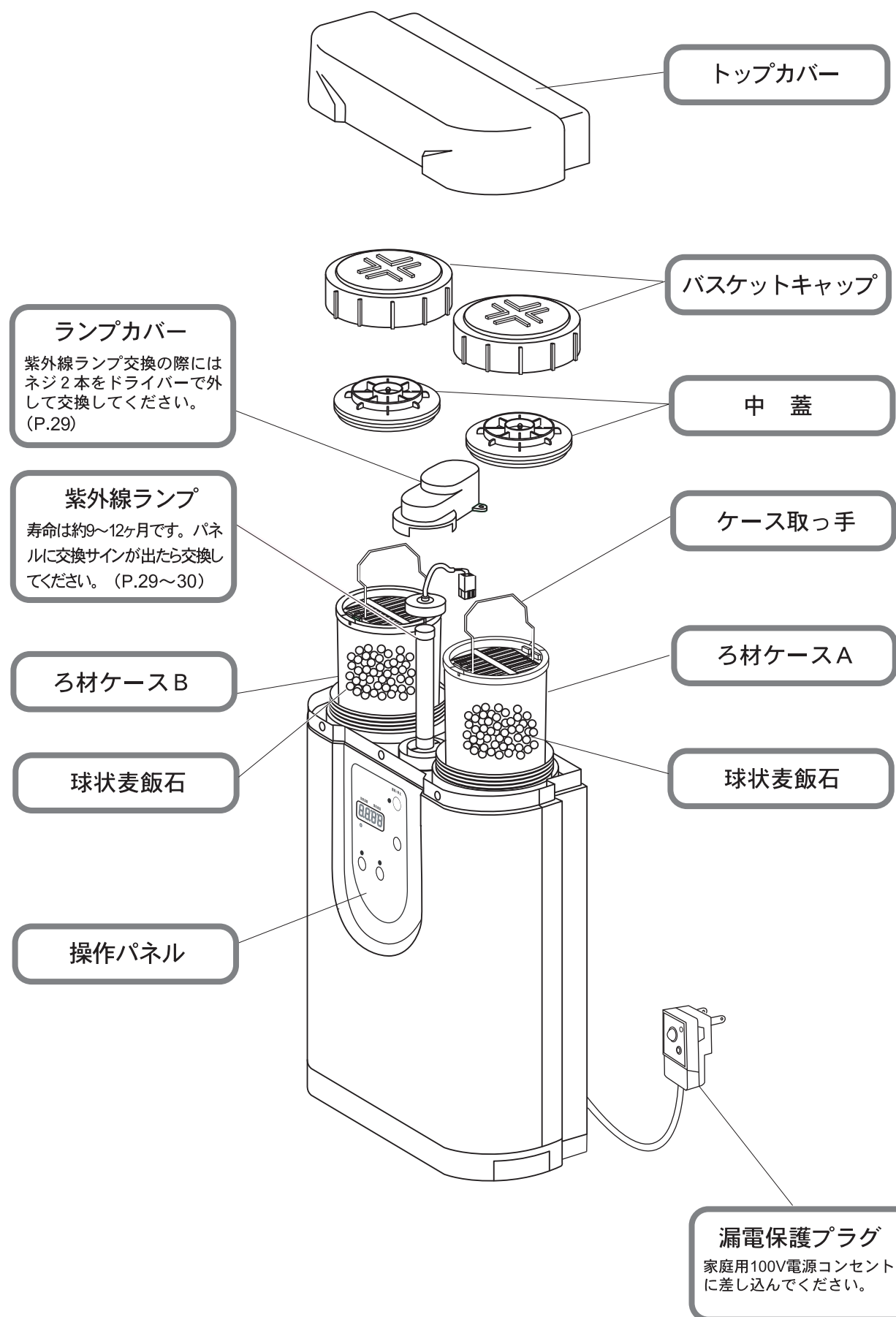
設置工事説明書

目次	37
安全上の注意事項	38
同梱品一覧	43
設置の方法	44
電源コードの取付け方	46
お客様への引渡し	47

保証書（巻末）

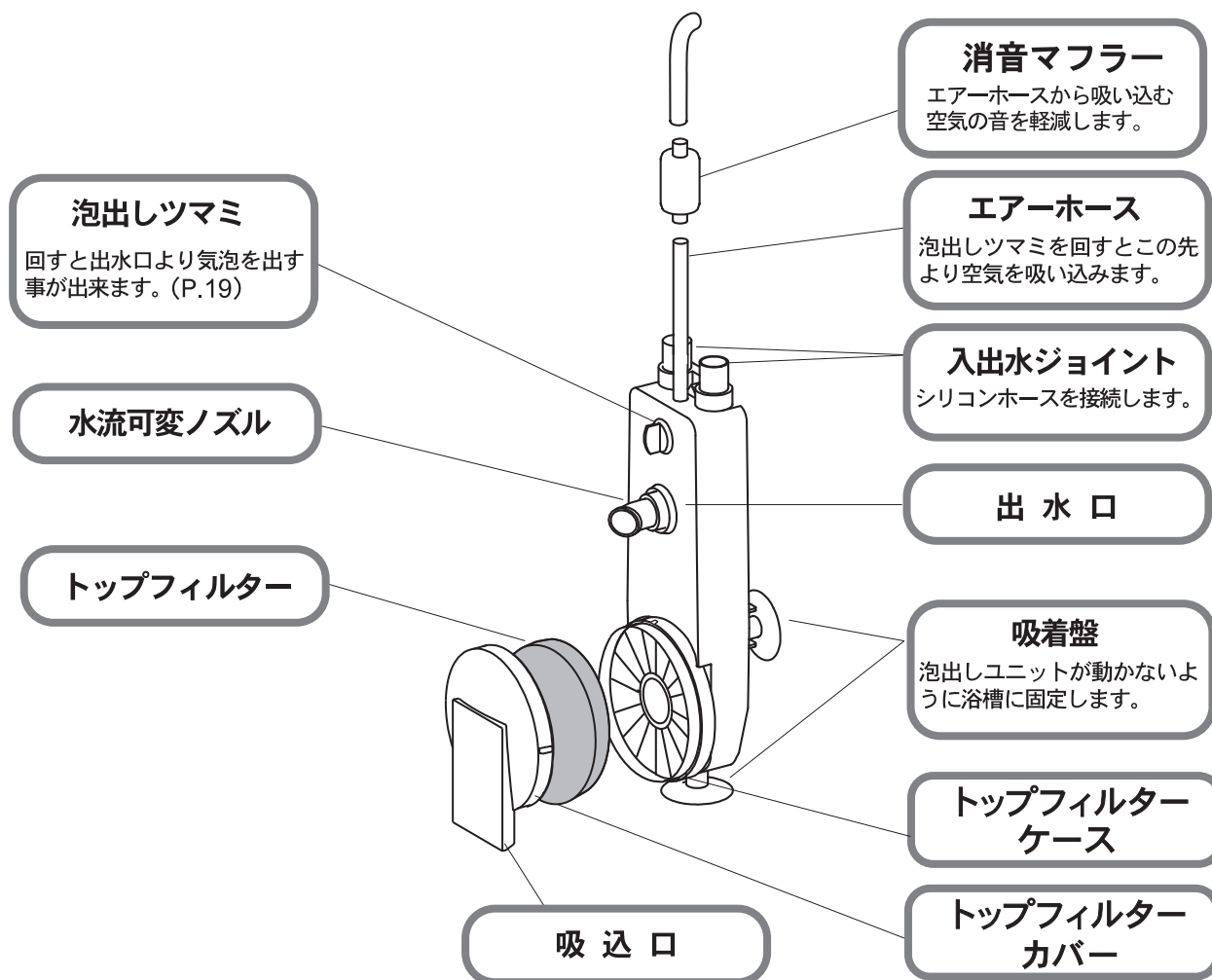
各部の名称

1 本体と電源



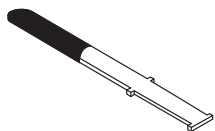
各部の名称

2 泡出しユニット



3 付属品

締付ハンドル



本体のバスケットキャップの取付取外しに使用します。

トップフィルター



髪の毛など目に見えるゴミの除去を行います。毎日手洗いしてください。(P.23参照)
※抗菌仕様(グリーン)
※必ず指定のトップフィルターをご使用ください。

通水ポンプセット

通水ポンプ

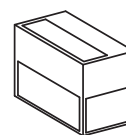


アダプター



呼び水のときに使用してください。(P.14参照)

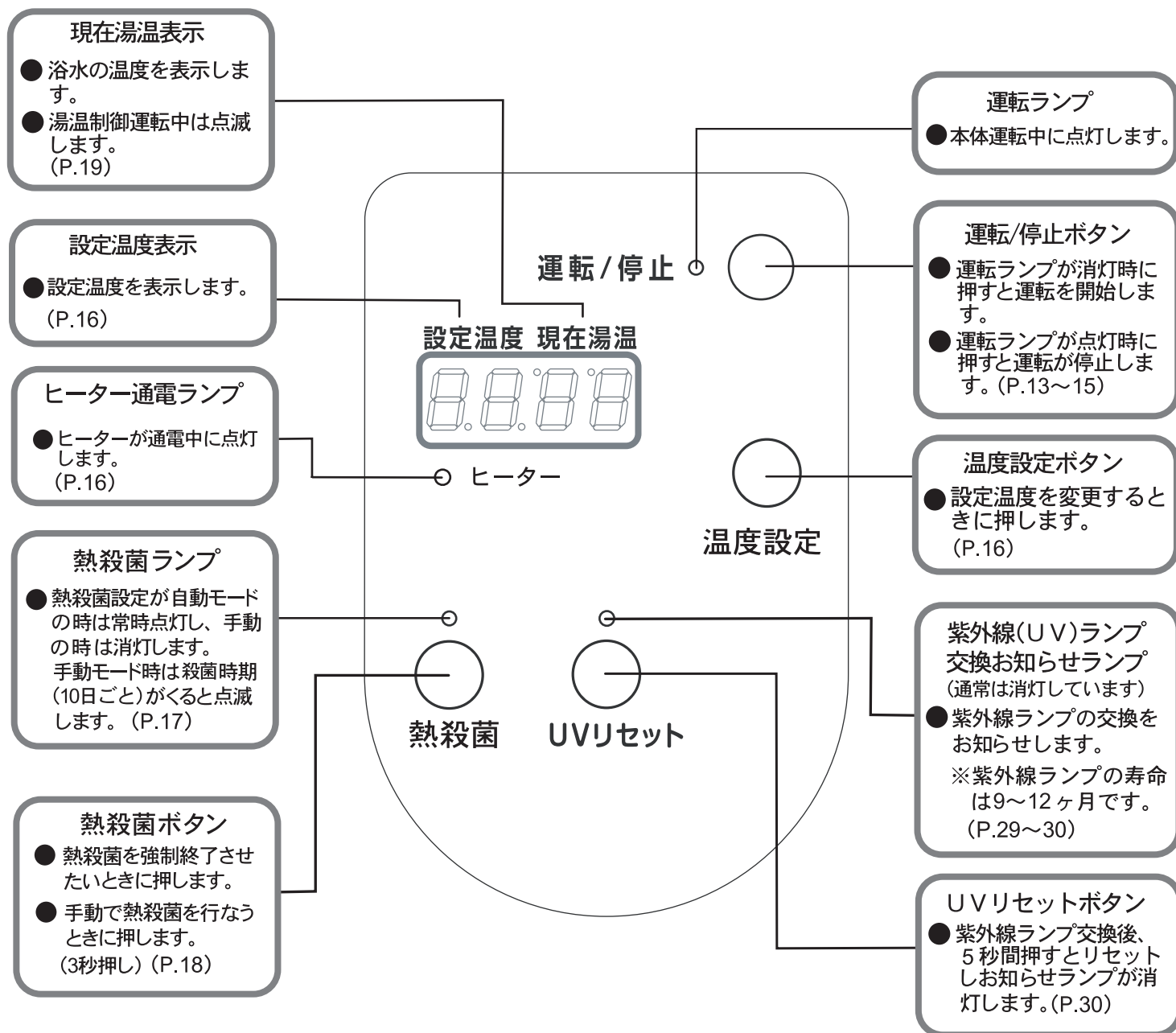
風呂水清浄剤



10日に1度1錠浴槽に投入してください。

パネルの名称とはたらき

■本体操作パネル



運転方法

1 運転開始の手順

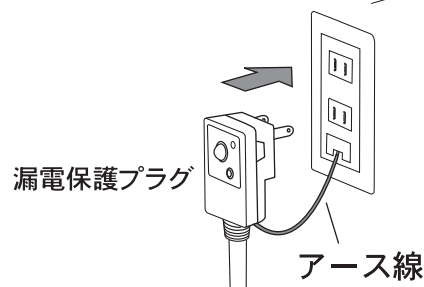
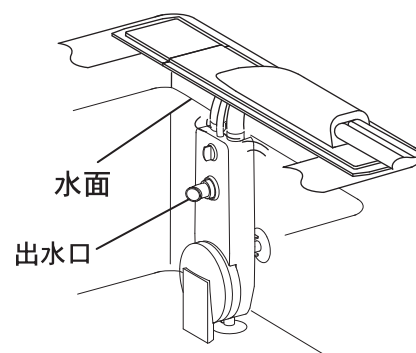
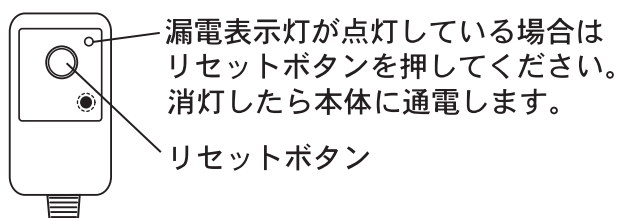


確認してください

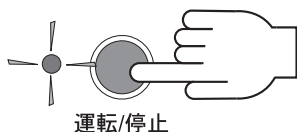
- 浴槽のお湯が泡出しユニットの出水口より上部にある事を確認してください。
- 漏電保護プラグを電源コンセントに差し込み漏電保護プラグにオレンジ色のランプが点灯している時はリセットボタンを押して本機に通電して下さい。
(※漏電保護プラグについて詳しくは P.30 12ヶ月・・・漏電保護プラグの点検項をご覧ください。)

1 電源投入後は「8888」が点灯します。

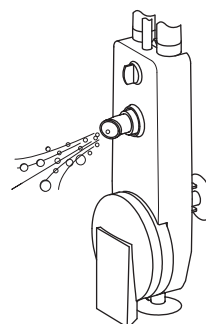
浴槽のお湯が泡出しユニットの出水口より上部にある事を確認して、漏電保護プラグをコンセントに差し込んでください。全てのランプが約20秒間点灯した後、現在湯温のみ表示されます。



2 運転/停止ボタンを押してください。



運転ランプ（緑）と設定温度が表示され、運転を開始します。



お知らせ

本機は本体内部ポンプに水が満たされていれば、通常は上記の操作で運転を開始します。1分後に「E 3」表示で停止する場合は、次ページの「呼び水の方法」をご覧ください。

運転方法

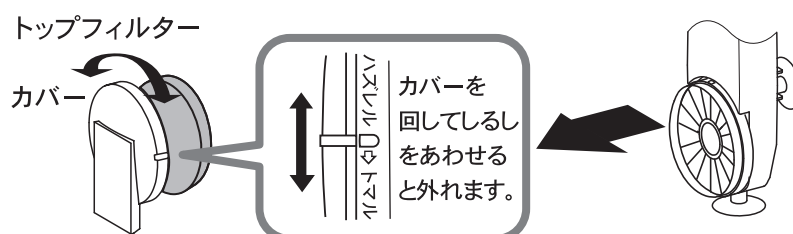
2 呼び水の方法

- 運転 / 停止ボタンを押しても循環せず、約 1 分後に「E3」停止してしまう場合は、運転/停止ボタンを一度押し「E3」を解除してから、もう一度運転/停止ボタンを押し、次のように水送り作業を行ってください。

確認してください！

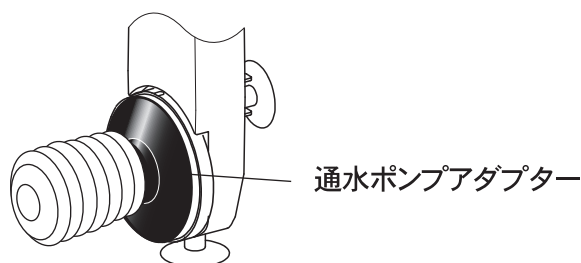
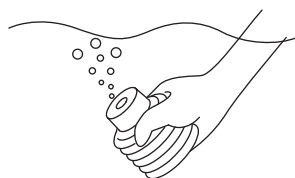
- 浴槽のお湯が泡出しユニットの出水口より上部にある事を確認してください。
- バスケットキャップをしっかり締めてください。

1 トップフィルターカバーとトップフィルターを外してください。



2 通水ポンプアダプターをケースにはめて通水ポンプを差し込んでください。

通水ポンプを浴槽に沈め、通水ポンプ内の空気を抜いてから、アダプターに差し込んでください。

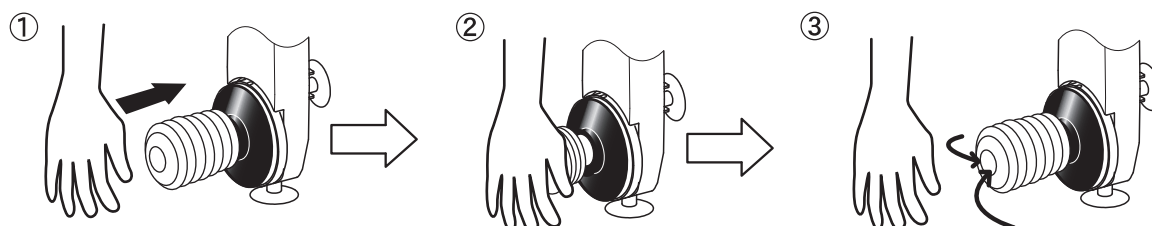


お願い

漏電保護プラグを電源コンセントから抜いた場合は【運転開始の手順】(P.13)を参照してください。

3 通水ポンプでお湯を送り込んでください。

下図のように通水ポンプの穴に手のひらを当て、充分に押し付けてお湯を送り込み、手を離してください。出水口からお湯が勢いよく流出するまでこの動作を繰り返してください。



つづく

運転方法

つづき

確認してください！

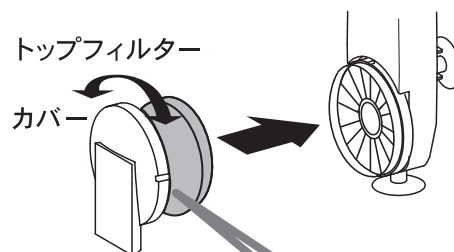
- お湯が循環している事を確認してください。
- 本体より水漏れが無い事を確認してください。

4

トップフィルターケースを取付けてください。

お知らせ

運転開始直後はポンプ部にお湯が満たされていないため運転音がやや高くなる場合があります。その後運転音が低くなれば異常ではありません。



●出水口からお湯が出ないときは

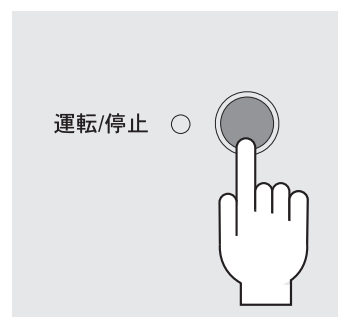
設置状況により1回の呼び水で運転を開始しない場合があります。この様な場合は、再度呼び水を行ってください。

※運転開始後1分経ってもお湯が循環しない場合「E 3」で停止します。

3 運転停止の手順

運転／停止ボタンを押してください。

運転ランプが消灯し「ピッ」と短くブザー音が鳴り停止します。



警告

- 長時間ご使用にならないときは、安全のため漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。

※ホコリが溜まって発火、発熱の原因になる事があります。



- 長期間本体を停止する場合は、「長期間お使いにならないときは・・・P.34」を参照の上お手入れを行ってください。

お知らせ

本機は、万が一吸込口に髪の毛や体の一部が吸込まれ水流が止まったとき、安全のためポンプの回転数を自動で落とす機能が搭載されています。（吸い込む力を弱めるため。）但し吸込口を完全にふさいでしまうと、この機能が働いても引き離すことが困難になります。その場合はすぐに運転/停止ボタンを押して運転を停止させてください。また運転中に引き離し、水流が回復するとポンプの回転数も自動で元にもどります。

操作方法

1 温度調節のしかた



お知らせ

- ・ 本体は浴槽下部の湯温を常に表示しています。水を補給した場合など一時的に、表示温度が下がる場合があります。また、ホースの長さ及び設置状況により、実際の湯温と表示温度に若干の差が出る場合があります。
- ・ 湯温が 34℃ 以下の場合、表示は「L0」となります。

温度設定ボタンを押してください。

- ・ 湯温は 35℃～45℃ の範囲内で設定可能です。
- ・ 温度設定ボタンを一度押すごとに設定温度が1℃上がります。45℃の次は「oF」となりヒーターが作動しない浄化のみの運転を行います。もう一度押すとまた35℃になり、続けて温度設定ボタンを押すごとに1℃ずつ上がります。

設定温度 現在湯温



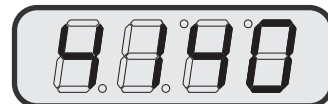
○ ヒーター



温度設定

- ・ ヒーターコロン（ヒーター通電ランプ）が点灯中は、ヒーター通電による保温加熱運転中です。

設定温度 現在湯温



ヒーター
ヒーターコロン



警告

● 夏期など浴室内温度が高いときは、ポンプの熱で設定温度より現在湯温が高くなる場合があります。湯温を下げたい場合は、水を足して適温にしてください。



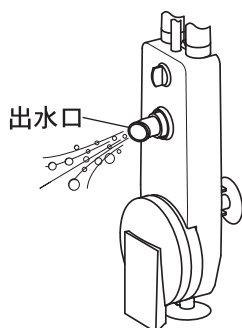
操作方法

2 熱殺菌のしかた

熱殺菌とは、10日毎に自動で本体内部の弁を切替え、お湯を本体内部だけで循環させ60℃まで加熱し、20分間そのまま維持する本体内部の殺菌運転です。

注意

- 熱殺菌中（CL表示）は入浴およびお手入れはしないでください。
- 熱殺菌中は本体近くのシリコンホースに触らないでください。
- ※60℃前後の高温のお湯が本体内部を循環しており、やけどのおそれがあります。
- 熱殺菌が完全に終了するまで出水口には近づかないでください。
- ※60℃前後の高温のお湯が排水されるので、やけどのおそれがあります。



※熱殺菌終了後、アラーム（ピーピー音）でお知らせしたあと、高温のお湯を約5L断続的に(10回)出水口から浴槽内へ排水します。排水中は「Hi」表示が点滅します。

設定温度 現在湯温



○ ヒーター

お知らせ

- ・自動熱殺菌は10日毎に行い本体内部の雑菌繁殖を抑制します。
- ※自動熱殺菌の開始時刻は、設置後に本機を運転し始めた時刻に設定されます。
- ※自動熱殺菌中は、浴槽のお湯は循環されません。
- ・強制的な熱殺菌を頻繁に行なうと浄化を損なうおそれがあります。
- ・熱殺菌終了後は、アラーム（ピーピー音）でお知らせしたあと、約5Lのお湯を断続的に（10回）浴槽内へ排水します。

①自動熱殺菌

- 自動熱殺菌は10日毎に行い、浴水の浄化を衛生的に管理します。
- 自動熱殺菌の開始時刻は、設置後に本機を運転し始めた時刻に設定されます。
- 自動熱殺菌設定のときは「熱殺菌」ランプ（橙）が継続して点灯しています。
- ・熱殺菌中は設定温度表示が「CL」に変わります。
- ・熱殺菌が終了するとアラーム（ピーピー音）でお知らせしたあと、60℃前後の高温水約5Lを断続的に（10回）浴槽内へ排水し、自動的に浄化運転に戻ります。
- ・熱殺菌開始から終了までの時間は約35分ですが、現在湯温によって変動します。

運転/停止○

設定温度 現在湯温



温度設定



熱殺菌



UVリセット

お知らせ

自動熱殺菌の開始時刻を変更したい場合（入浴時間を避けたいときなど）は、変更したい時刻に強制的に熱殺菌を行う必要があります。次項の「③熱殺菌を手動で開始したいとき」をご覧ください。

設定温度 現在湯温



○ ヒーター

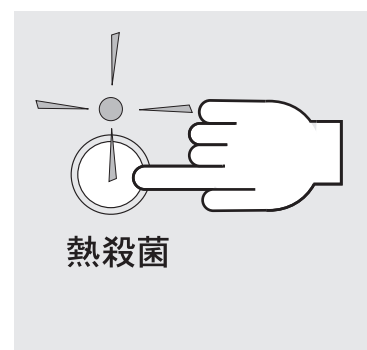
操作方法

② 熱殺菌を途中終了したいとき（強制排水）

- 熱殺菌を早く終了させたいときは、強制排水することで、熱殺菌を終了させることができます。

熱殺菌中に熱殺菌ボタンを1秒間押します。

- ・ 排水動作に入り、アラーム（ピーピー音）でお知らせしたあと、高温のお湯を約5L断続的に（10回）出水口から浴槽内へ排水します。
- ・ 自動熱殺菌を途中キャンセルしたときは、再度翌日の同時刻に自動熱殺菌に入ります。熱殺菌ランプも翌日の自動熱殺菌開始まで点滅しつづけます。



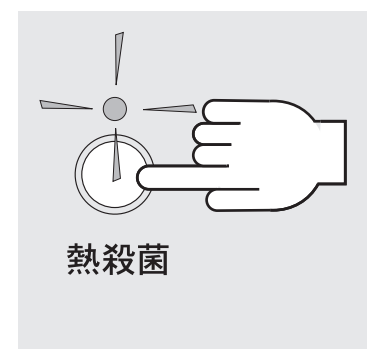
注意

熱殺菌を終了させご入浴される場合は、「CL」表示から「設定温度と現在温度」表示に変わったあと、湯かげんをよく確かめてからご入浴ください。

③ 熱殺菌を手動で開始したいとき

運転中に熱殺菌ボタンを3秒間押します。

- ・ 熱殺菌に切り替わると設定温度表示が「CL」に変わります。
- ・ 熱殺菌の動作は自動熱殺菌と同じです。
- ・ 熱殺菌が正常に終了したら、10日後の同じ時刻に熱殺菌を開始します。



お知らせ

熱殺菌を頻繁に行うと浄化不良を起こす原因になることがあります。

その他の機能について

1 泡出し運転のしかた



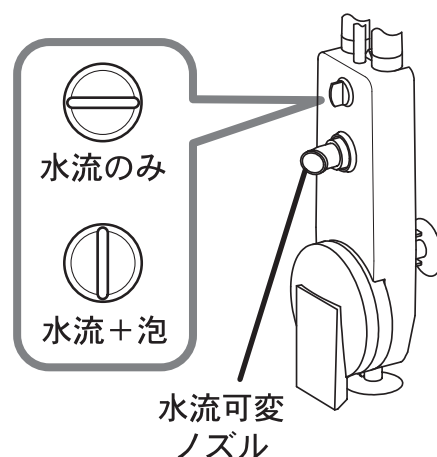
警告

- ご使用前に4ページの「泡出し運転のご注意」をよくお読みください。



泡出しツマミをまわします。(水流+泡)

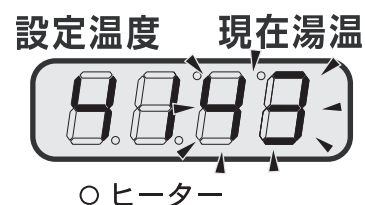
出水口から気泡入り水流を出すことができます。



2 湯温制御運転について

夏期など外気温が高いときにモーターポンプの余熱のみで保温できるときや、追焚きまたは給湯などにより現在の湯温が設定温度に対して1℃以上高くなったとき、現在湯温表示が点滅しモーターポンプの回転数を下げて湯温制御運転を開始します。
(このときは通常運転に比べて循環量が約20%低下します。)

湯温制御運転は現在の湯温が設定温度まで低下すると湯温制御運転前の運転に自動復帰しますが、早く湯温制御運転前の運転に戻りたい場合は浴水に水を足すなどして現在湯温を設定温度まで下げてください。



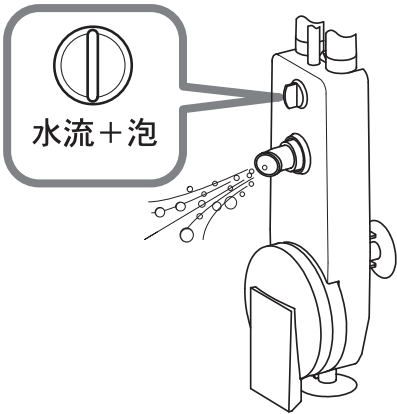
お知らせ

- ・ 現在湯温が38℃以下のときは湯温制御運転は行ないません。
- ・ 温度設定変更操作を行いますと1時間は湯温制御運転は行いませんが、1時間経過後に設定温度より現在湯温が1℃以上高い場合は、再度湯温制御運転を開始します。

浴水の浄化について

浴水中の汚れは、ろ材のまわりに生成された微生物によって浄化されます。そのためろ材のまわりに有効な微生物の膜が形成されるまでの間は、浄化がうまく行われなことがあることがあります。通常この膜が生成されるまでには 1～2 週間かかりますので、浴水が濁ったり、臭いがある場合には、浴水を交換してください。（P.30 参照）

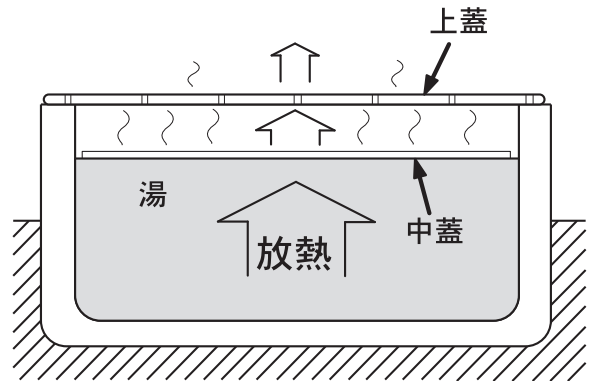
●初期浄化を早く安定させるには

どうする？	どうして？
●汚れを落としてから入浴してください。 ●浴槽の中で、体をこすったりして浴水を汚さないでください。 ●濁った場合は浴水を交換してください。	汚れが多すぎると、ある特定の微生物が多くなったり、環境が悪化したり、必要な微生物がなかなか生育できません。 濁ったり、臭いがある場合は、浴水の交換をしてください。（P.30 参照）
●最初の 10 日間位は濁ってもろ材を洗わないでください。 ●必要以上に強制（手動）熱殺菌を行わないでください。	ろ材のまわりに少しずつ生物膜が形成されてきます。ろ材を洗うとせっかく形成されてきた生物膜がはがれてしまいます。 濁ったり、臭いがある場合は、浴水の交換をしてください。（P.30 参照）
●浄化が安定するまでは、入浴の時以外でも泡出しユニットの水流可変ノズルから泡を出しっぱなしにしてください。（P.19 参照） 	浴水の浄化に活躍している微生物には、酸素が必要です。そのため、特に最初は泡を出し、浴水中に少しでも多くの酸素を取り込むことで微生物の生育を促します。

上手なご使用方法

■電気料金の節約

- 浴槽の湯面に、中蓋（市販品）を浮かしその上に上蓋をすると湯面からの放熱を減らす事ができます。
- バランス釜を併用されている場合、冬期のバランス釜からの放熱を防ぐため、逆流防止弁（市販品）を取り付けると電気料金の節約になります。
- 浴水を入れるときや足し湯をするときは、お湯を入れてください。ヒーターの通電時間を短くすることで節約になります。
- 出水ノズルより泡を出すとお湯が冷えやすいため必要のないときは泡を止めておいてください。
- 給湯設備・エコ給湯等が備わっている場合、本機のヒーターをOFF（P.16参照）にし、浄化のみの運転を行い、入浴時に足し湯されるか、または追い炊きで適温にさせていただくことにより、電気料金と水道料金の節約になります。



お知らせ

本機でお湯は沸かせません。（保温機能だけです。）

お願い

お湯の沸かしすぎ、および温度の高い給湯は、泡出しユニットなどが変形する事がありますのでご注意ください。（45℃以下でご使用ください。）

日常のお手入れ

1 各部のお手入れ一覧



注意

● 下記の内容でお手入れを確実に行ってください。

※お手入れ不足は、浄化能力の低下、制菌の低下となる場合があります。



内容	実施時期の目安	参照ページ
トップフィルターの洗浄	毎日行ってください。	23
トップフィルターの交換	3～6ヶ月ごと、または破損時に交換してください。	23
浴槽内の清掃	毎日行ってください。	23
熱洗浄	10日ごと自動で熱洗浄をするためお手入れ不要です。	17,18
風呂水清浄剤の投入	10日ごと1粒を浴槽に投入してください。	23
トップフィルターケースの掃除	つまり確認時行ってください。	24
泡出しユニット吸込口の掃除	つまり確認時または浴水交換時行ってください。	24
ろ材の洗浄 本体、配管などの洗浄	3～6ヶ月ごと、または出水口からの水流が弱くなったときに行ってください。	25～28
風呂釜の洗浄	3～6ヶ月ごとの本体、配管などの洗浄のときに合わせて行ってください。	29
紫外線ランプの交換	交換の目安は約9～12ヶ月です。 交換お知らせランプ（緑）が点滅したときに交換してください。	29, 30
漏電保護プラグの点検	1ヵ月ごとに行ってください。	30
浴水の交換	1ヵ月ごとに行ってください。 浴水が濁ったり、臭いが発生した場合は、その都度浴水を交換してください。	30

※使用頻度により実施時期の目安は異なります。

泡の量が減ったり、濁り・臭いが発生した場合は早めにお手入れを実施して下さい。

お願い

本体内に汚れが付着し、水流が弱くなったままご使用をつづけますと、故障および浄化不良の原因になりますので、必ず定期的にお手入れを実施してください。

2 定期メンテナンス契約

より快適にお使いいただくための「定期メンテナンス契約」もご用意しています。

認定サービスセンターが定期的に訪問し、ろ材の洗浄、管路（本体内）洗浄、紫外線ランプの交換、本体点検などを行います。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはお客様相談室（P.36 参照）にご相談ください。

※お住まいの地域によっては別途出張費が掛かる場合があります。

日常のお手入れ

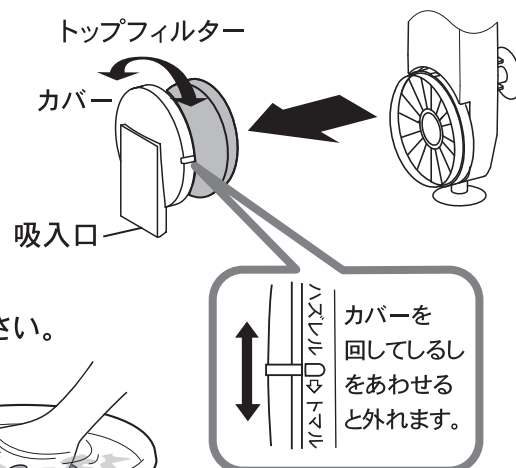
3 毎日・・・トップフィルターの洗浄

運転／停止ボタンを押して運転を停止させてください。

1. 泡出しユニットからトップフィルターカバーを少し回転させながら取外します。

お願い

トップフィルターケースの取外しは、必ず機器を停止させてから行ってください。
トップフィルターがない状態で大きなゴミを吸うと故障の原因になります。



2. 吸入口に髪の毛などが付着している場合は取除いてください。
3. トップフィルターを取り出し、洗面器に張ったお湯の中でもみ洗いしてください。
シャンプーなどで洗っていただくと付着した油脂分も洗浄できます。
4. トップフィルターをセットしてください。



注意

- トップフィルターやカバーを外して、運転しないでください。
※ 髪や体が吸い寄せられてケガをしたり、故障の原因になります。
- トップフィルターは専用品以外は使用しないでください。
※ 故障の原因になります。



お知らせ

- トップフィルターは2枚用意して交互に使用し、時々乾燥させると長持ちします。
- トップフィルターは3～6ヶ月ごと、または破損したら新しいものと交換して下さい。
- 次のような状態になったときは、トップフィルターに起因していることがあります。ていねいに洗浄しなすか、トップフィルターの交換をしてください。
 - ◆ 水流可変ノズルからの気泡が弱まった場合。
 - ◆ 浴水の濁りや臭いが進行した場合。
 - ◆ ポンプが自然に停止してしまった場合。
 - ◆ 保温出来なくなった場合。
 - ◆ 運転音が大きくなった場合。

4 毎日・・・浴槽内の清掃

浴槽内に付着したヌメリや汚れは、1日1回スポンジなどで拭いてください。

5 10日・・・風呂水清浄剤の投入

10日に1度、入浴後に1錠浴水に入れてください。

注意

風呂水清浄剤は市販品の「ふろ水ワンダー」を使用しております。
2箱消化後は薬局などでご購入ください。
取扱については箱に記載の「使用上の注意」をお読みください。



日常のお手入れ

6 トップフィルターケースの掃除・・・つまり確認時

- 循環量（水流）が弱くなった場合や「E3」表示で本体が停止してしまった場合、トップフィルターケースの吸込口につまりがないかご確認ください。
つまり等が確認された場合、以下の要領でつまりを取り除いてください。

運転／停止ボタンを押して運転を停止させてください。

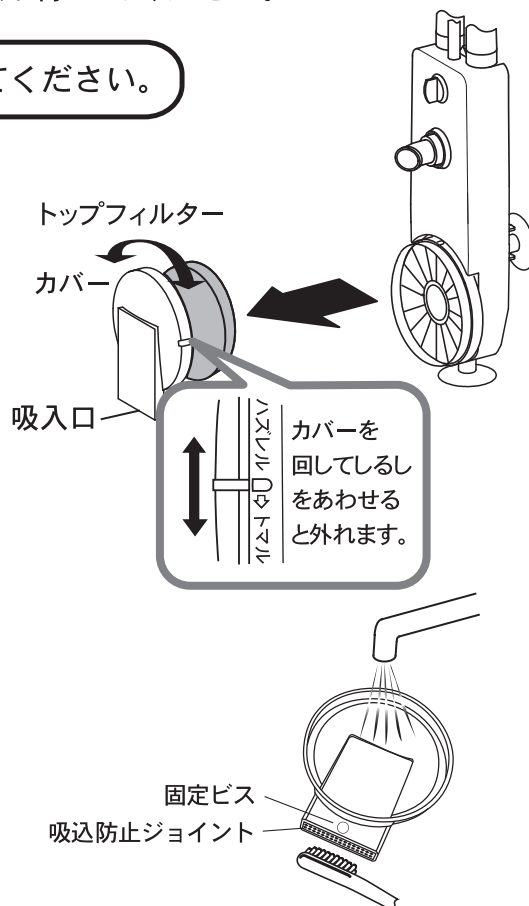
1. 泡出しユニットからトップフィルターカバーを少し回転させながら取外し洗浄してください。

お願い

トップフィルターケースの取外しは、必ず機器を停止させてから行ってください。
トップフィルターがない状態で大きなゴミを吸うと故障の原因になります。

お願い

吸込口の掃除をするために固定ビスを外し、吸込防止ジョイントを取って掃除をされた場合でも、掃除終了後は必ず元通り、吸込み防止ジョイントをセットし、固定ビスで固定してご使用ください。



2. トップフィルターケースをセットしてください。

警告 吸込防止ジョイントを外したまま、運転しないでください。
※髪の毛が吸込まれ溺れて、死亡や重傷を負う恐れがあります。

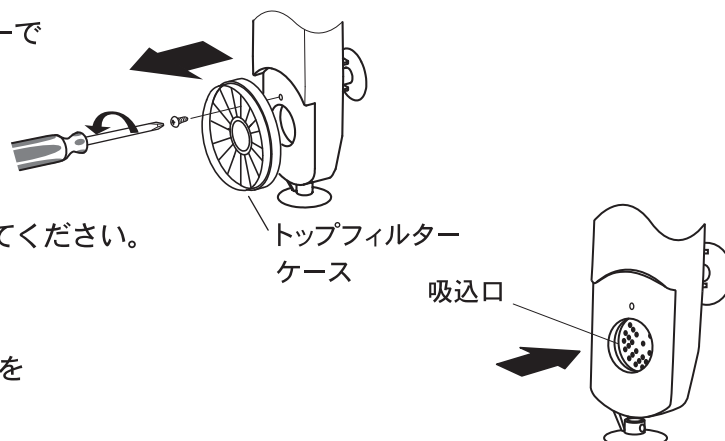


7 泡出しユニットの吸込口の掃除・・・つまり確認時または浴水交換時

1. トップフィルターケースのネジをプラスドライバーで外してケースを外してください。
(ネジをなくさないようにご注意ください。)

2. 泡出しユニットの吸込口をブラシなどで掃除してください。

3. 掃除が終わったら、ケースを元に戻し必ずネジを締め付けてください。



注意 トップフィルターケースを外したまま、運転しないでください。
※髪や体が吸い寄せられてケガをしたり、故障の原因になります。



日常のお手入れ

8 3～6ヶ月・・・ろ材の洗浄

●運転を停止した後、次の手順により洗浄を行ってください。

お願い

入浴人数が多い場合や汚れが多い場合、水流が弱くなった場合は早目に洗浄を行ってください。

1. 本体の 運転／停止 ボタンを押し、運転を停止させてください。
2. 運転が完全に停止したら、本体のトップカバーを外して、付属の締め付けハンドルで、浄化筒バスケットキャップを外してください。

中蓋の中心にあるエア弁を「シュー」という音がしなくなるまで押し続けます。
※空気がケース内に流入する音です。

3. ろ材ケースを本体から取り出してください。

空気が流入する音がしなくなったら、中蓋を持ち上げて外し、本体側ケース内の石ケース（ろ材ケース）の取っ手をしっかり持って、取り出してください。

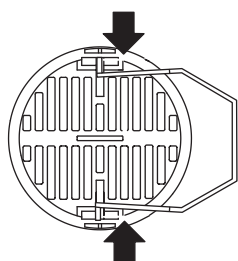


注意

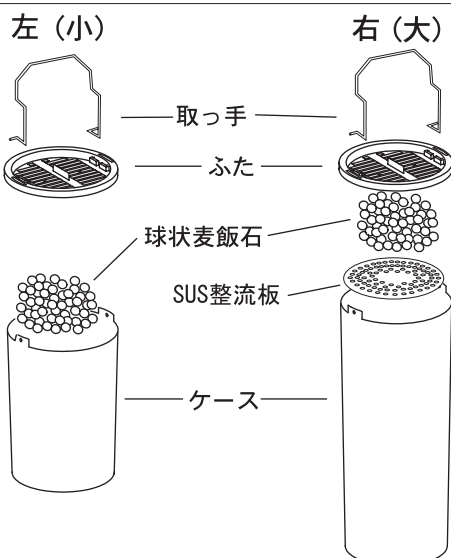
水を含んだろ材ケースは重くなっていますので、落とさないよう気をつけてください。



4. ろ材ケースの取っ手を倒し、根本の両端を矢印の方向に抑えて、取っ手をケースから外してください。ケースからろ材を取り出し、別の容器に入れてください。

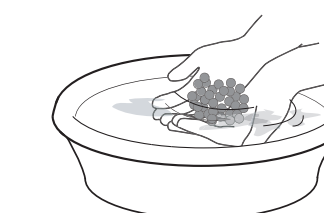
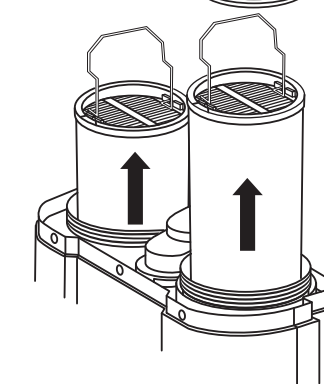
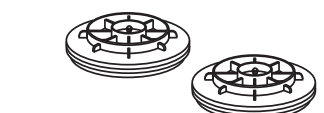
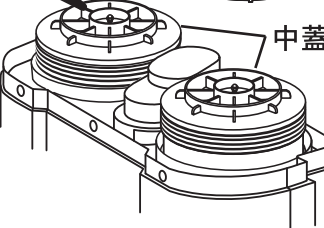
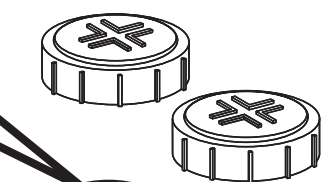
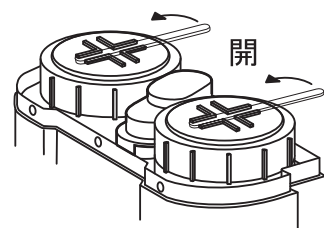
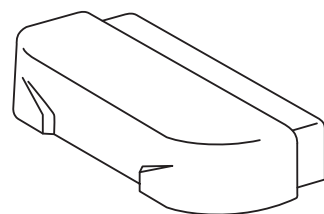


ろ材ケースの構造



5. 麦飯石は残り湯などのぬるま湯で、手で軽く洗ってください。

つづく



日常のお手入れ

8 3～6ヶ月・・・ろ材の洗浄 つづき

お願い

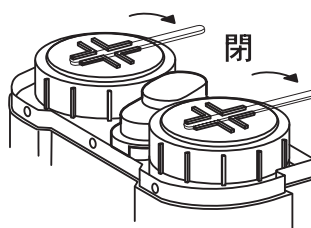
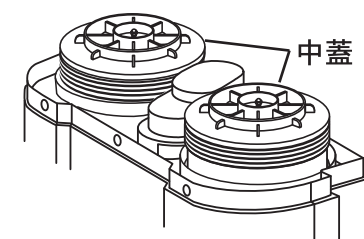
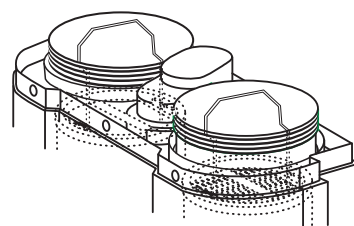
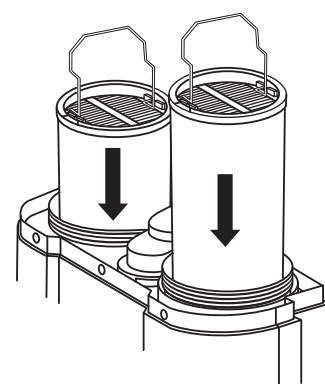
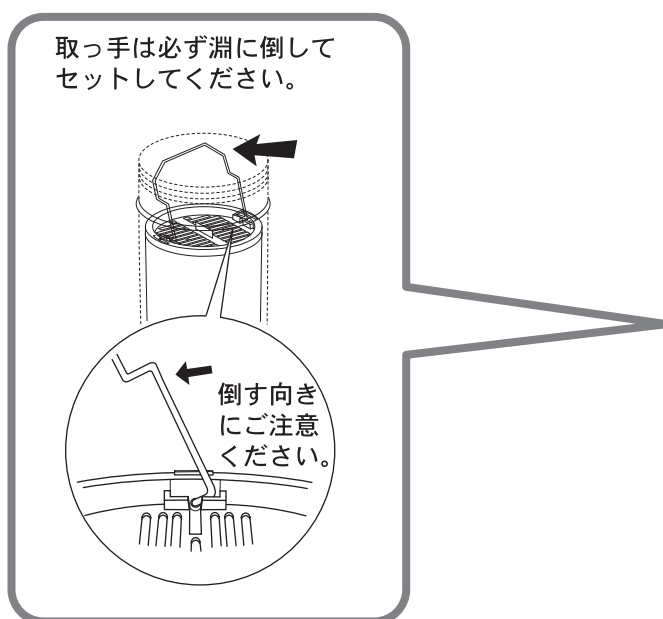
- ろ材の洗いすぎは浄化能力を低下させますので軽く洗ってください。洗剤などは使用しないでください。
- ろ材の洗浄後に浴槽のお湯がまれに濁る場合があります。その際は、浴槽のお湯を入れ替えてください。

6. 洗い終わったろ材をろ材ケースに戻し、蓋と取っ手を取り付けてください。

※同時に本体・配管などの洗浄（パイプ洗浄）を行う場合は次項

9 3～6ヶ月・・・本体・配管などの洗浄の4. からお読みください。

7. ろ材ケースを本体にセットしてください。



8. 中蓋をしてからバスケットキャップを締め付けハンドルでしっかり締めてください。

お願い

バスケットキャップはしっかり締めてください。

9. トップカバーを元通り取り付けてください。

10. 運転／停止ボタンを押し、運転を開始してください。

※運転を再開しても、出水口からお湯が継続して流出しないときは呼び水（P. 14 参照）を行ってください。

日常のお手入れ

9 3～6ヶ月・・・本体・配管などの洗浄

●用意するもの

1. 24時間風呂洗浄剤 ----- お買い求めの販売店またはお客様相談室（P. 36 参照）へご注文ください。ご使用の際には注意書きをよくお読みください。
2. 1m程度のホース ----- 設置工事後残ったシリコンホースまたは内径18mmの市販のホースをご使用ください。

お願い

入浴人数が多い場合や汚れが多い場合、水流が弱くなった場合は早目に洗浄を行ってください。

1. 本体の運転／停止 ボタンを押し、運転を停止してください。
2. 運転が完全に停止したら、本体のトップカバーをはずして、付属の締め付けハンドルで浄化筒のバスケットキャップをはずし、中蓋を持ち上げてはずしてください。（P. 25 参照）
3. ろ材ケースを本体から取り出してください。



注意

水を含んだろ材ケースは重くなっていますので、落とさないよう気をつけてください。

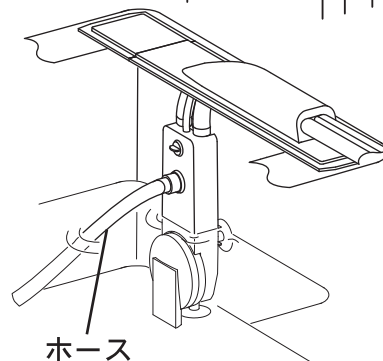
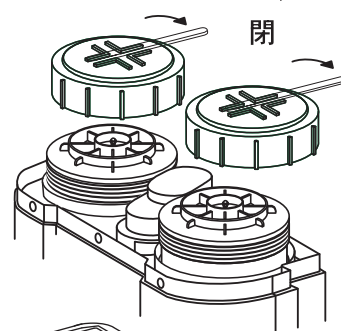
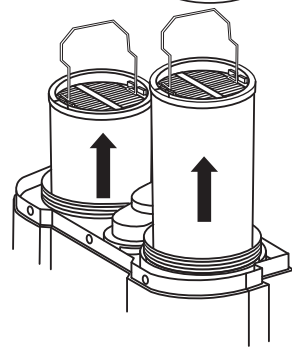
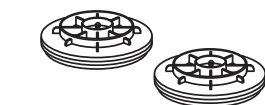
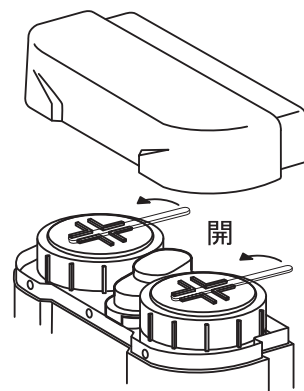


4. 中蓋をしてから、締め付けハンドルを使用しバスケットキャップをしっかりと締めてください。

お願い

バスケットキャップはしっかりと締めてください。

5. 浴槽のお湯を右図のように、入水口の 5 cm 位上になるまで抜き、水流可変ノズルに用意したホースを差込み、浴水の水面下に入れます。
6. トップフィルターを取り外した状態で、トップフィルターケースを泡出しユニットに取り付けます。
7. 運転／停止 ボタンを押し、運転を開始してください。
8. 24時間風呂専用洗浄剤250 g（浴槽一杯のお湯の量なら500 g）を洗面器などに入れて、お湯でよくかきまぜてから浴槽内に入れてください。
9. 泡出しツマミを横にして、水流のみの運転にしてください。



つづく

日常のお手入れ

9 3～6ヶ月・・・本体・配管などの洗浄

つづき

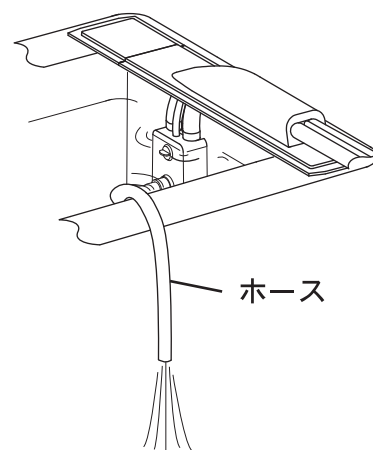
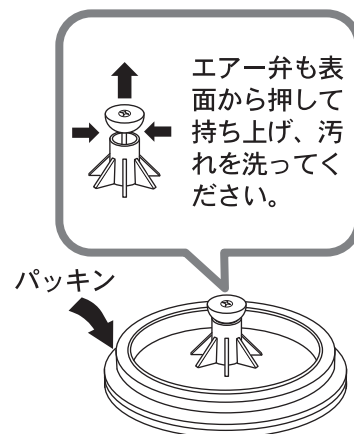
10. 洗浄剤を入れた状態で4時間以上運転してください。
※長時間運転するほど汚れが落ちます。
11. 4時間以上運転すると、ホース内の汚れが浴槽に出てきてお湯がにごります。そのあと運転を停止して、浴槽のお湯を抜いてシャワーなどで浴槽を洗ってください。
12. 本体のバスケットキャップと中蓋を外して、中蓋の裏面をブラシなどで水洗いしてください。また泡出しユニット裏面も同様に汚れを落としてください。
13. 取り外したバスケットキャップと中蓋を本体に取り付けてください。
※泡出しユニットも外した場合は、元通り取り付けてください。

お願い

バスケットキャップはしっかり締めてください。

14. 浴槽に8割程度水を入れて、運転／停止ボタンを押し、運転を開始してください。その時水流可変ノズルに取り付けたホースは、右図のように浴槽の外に出してください。
15. 浴槽の水がなくなったら、すすぎ運転は完了です。運転／停止ボタンを押すか漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて運転を停止してください。
※浴槽に残った水は、浴槽の栓を抜いて全て排水してください。
16. 水流可変ノズルに取り付けたホースを外し、浴槽にお湯を入れてください。
17. 取り出してあったろ材ケースをセットして、運転を開始してください。
(P. 13～15 参照)

中蓋裏側の汚れを落としてください。



注意

水を含んだろ材ケースは重くなっていますので、落とさないよう気をつけてください。



日常のお手入れ

10 3～6ヶ月・・・風呂釜の洗浄

- バランス釜やガス釜は、3～6ヶ月に1度程度、必ず本機の運転を停止させた状態で、風呂釜専用洗浄剤などで内部を洗浄してください。

※洗浄が不十分な場合やすすぎが完全でない場合は、細菌が異常に増殖したり、使用中に浴水がにごったり、臭いが発生することがあります。

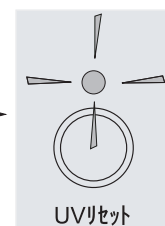
11 9～12ヶ月・・・紫外線ランプの交換

警告 ●紫外線ランプを交換する前に、運転/停止ボタンを押し運転を停止させたあと、必ず漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて下さい。

注意 ●紫外線ランプは濡れた手で交換しないでください。また、紫外線ランプを割らないよう注意して取り扱ってください。
※紫外線ランプはガラス製ですので割れるとケガをするおそれがあります。
●紫外線ランプの光は絶対に見ないでください。
※目を傷める原因になります。
●紫外線ランプは専用品以外は使用しないでください。
※故障の原因になります。

紫外線ランプの交換の目安は約9～12ヶ月です。

紫外線ランプ交換のお知らせランプ（赤）が点滅したときは以下の要領で交換してください。



1. 紫外線ランプをご購入してください。（お買い求めの販売店またはお客様相談室へお問合せください。P. 36 参照）
2. 運転/停止ボタンを押し、運転を停止させたあと、必ず漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて下さい。
3. トップカバーを外してください。
4. 中央の紫外線ランプカバーを固定しているビス2本をプラスドライバーで外し、紫外線ランプカバーを取り外してください。（図1）
5. 図2のように、リード線のコネクターのツメを矢印の方向に押しながら上へ引き上げるとコネクタが外れます。
6. 図3のように紫外線ランプを筒から抜いてください。
7. 新しい紫外線ランプを筒に差し込んで、コネクタを接続してください。
8. 紫外線ランプカバーを取り付け、ビスで固定してください。
9. トップカバーを取り付けてください。
10. 漏電保護プラグを電源コンセントに差し込み、運転/停止ボタンを押して運転を開始してください。（P. 13参照）

図1

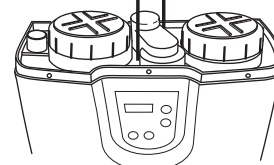


図2

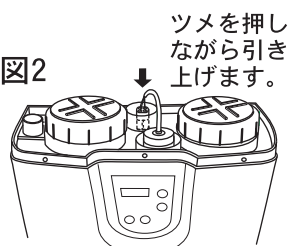
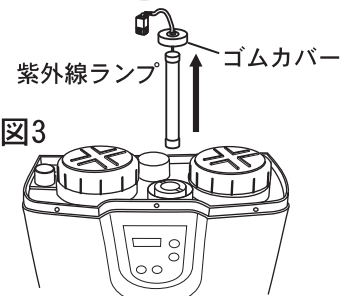


図3



つづく

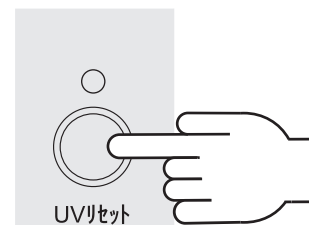
お願い

紫外線ランプのゴムカバーは筒に確実にかぶせてください。

日常のお手入れ

11 9～12ヶ月・・・紫外線ランプの交換 つづき

11. 最後に「UVリセットボタン」を5秒以上押しつづけお知らせランプを消灯させてください。



12 1ヶ月・・・漏電保護プラグの点検

月に一度は、漏電保護プラグが正常に作動することを確認してください。



警告

漏電保護プラグと電源コンセントにホコリがたまると思わぬ事故につながります。日頃から掃除をしてください。



1. 漏電保護プラグを電源コンセントに差し込んだまま漏電保護プラグのテスト（切）スイッチを押してください。

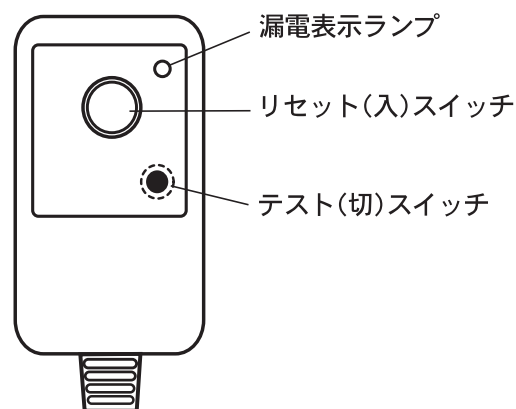
2. 漏電表示ランプが点灯すれば正常です。

※漏電表示ランプが点灯しない場合、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、お客様相談室へご連絡ください。

3. 漏電保護プラグのリセット（入）スイッチを押し、本体に通電させます。このとき漏電表示ランプは消灯します。

4. 運転を再開してください。（P.13参照）

運転を再開させても、水流可変ノズルよりお湯が継続して流出しない場合は、「呼び水の方法」（P.14～15参照）に従い、本機を運転させてください。



13 1ヶ月・・・浴水の交換

月に一度または浴水が濁ったり、臭いが発生した場合は浴水を交換してください。

1. 本体の 運転／停止 ボタンを押し、運転を停止させてください。
2. 運転が完全に停止したら、浴槽のお湯を抜いてください。
3. 水流可変ノズルが充分にお湯につかるまで、浴槽に新しいお湯を入れてください。
4. 運転／停止ボタンを押し、運転を開始してください。

※運転を再開させても、水流可変ノズルから継続してお湯が出ないときは、呼び水（P.14～15参照）を行ってください。

お知らせ

1 浴水に濁り臭いがあるときは

設置当初、微生物がろ材に生成されるまで 1～2 週間かかります。その間、浴水の浄化が充分に行われませんので、濁り臭いがある場合は浴水を交換してください。(P. 30 参照)

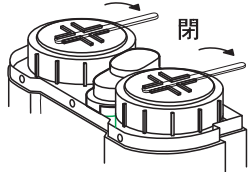
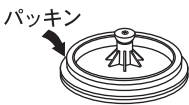
ご利用の環境によっては水質の安定に 1 ヶ月ほどかかる場合があります。

確認内容	処置方法
設置時風呂釜の洗浄を行いましたか？	風呂釜配管内部の汚れが浴水中に出てきている場合がありますので、一度浴槽の水を捨てて、風呂釜内部を洗浄してから再度運転させてください。
トップフィルターを毎日洗っていますか？	トップフィルターが目詰まりにより浄化能力が落ちる場合がありますので、トップフィルターは毎日洗ってください。(P. 23 参照)
何日間使用しましたか？	設置またはろ材の洗浄をした後、浴水が濁っているようでしたら濁り臭い発生の都度浴水を交換して様子を見てください。 (P. 30 参照) 2～3 週間経過しても、きれいにならないようでしたら、お買い求めの販売店、またはお客様相談室 (P. 36 参照) にご相談ください。
追い焚きなどで沸かしすぎはありませんでしたか？	50℃以上のお湯が頻繁に本体内部に入りますと、ろ材に付着した微生物が不活発になってしまいます。その場合は浴水が濁る場合がありますので、元の状態に戻るまで浴水の交換を何回か行ってください。
1 日にたくさんの方が入浴しませんでしたか？	例えば、毎日入浴されている人数より多く入浴された場合は普段より浄化に時間がかかることがあります。
入浴するときは身体をよく洗ってから入浴していますか？	石鹸、シャンプー、化粧品、塗り薬などが浴水に混入すると濁り臭いが発生する場合がありますので、身体をよく洗い流してから入浴してください。
水道水を使用していますか？	水道水以外の水をご使用になると、濁り臭いの原因になることがあります。
長期間ろ材などを洗浄せずに使用していませんか？	ろ材、本体配管の詰りが考えられますので、 ●ろ材の洗浄 (P. 25～26 参照) ●本体・配管などの洗浄 (P. 27～28 参照) に従い、洗浄を行った後に再度運転してください。

以上の点検を実施しても直らない場合は、お買い求めの販売店または P. 36 のお客様相談室へご相談ください。なお、洗浄メンテナンスは保証期間内でも有料で承ります。

お知らせ

2 故障かなと思ったときは

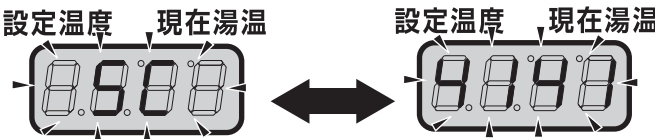
症状	対処方法
●水もれ キャップの締め付けが不十分。 中蓋裏面のパッキンがきちんとセットされていない。 中蓋のエア弁に汚れがつまっている。	➡ 付属の締め付けハンドルでしっかり締め付けてください。 ➡ 裏面の半透明のゴムパッキンをセットしてください。 ➡ 中蓋裏面のエア弁を水でよく洗ってください。(P.28参照)    エア弁も表面から押して持ち上げ、汚れを洗ってください。
●保温できない 浴槽および浴水表面からの放熱が大きい。 循環流量が低下している。	➡ 浴槽にきちんとふたをしてください。放熱しやすい風呂(例：タイル風呂、大きな浴槽など)については断熱をきちんと行なってください。また、中ぶたをするのも有効な手段です。(P.21参照) ➡ 循環流量が低下すると保温効率が低下します。トップフィルター、ろ材、本体配管などを洗浄してください。(P.23～28参照)
●設定温度より現在湯温が高い 設定温度より現在湯温が1℃高い。 設定温度より現在湯温が1℃以上高い。	➡ 本体の温度制御は、設定温度より湯温が1℃低くなるとヒーターが入り、1℃高くなるとヒーターが切れるようになっておりますので、特に故障では有りません。 ➡ 本機のポンプは、ポンプからの発熱も浴水に伝える省エネ構造となっております。そのため特に夏期など、外気温が高い場合や浴槽の保温性が高い場合、また熱殺菌のあとは、殺菌された高温水を浴槽に戻すため、設定温度よりも浴水の温度が高くなる場合があります。その際はご入浴前に水を足して浴水温を調節してください。
●家の電流ブレーカーが頻繁に落ちる	➡ 本体の電源容量はAC100V 9Aです。ブレーカーが頻繁に落ちる場合は他の機器との併用をやめてください。他の機器との併用をやめても症状が改善されない場合はお近くの電力会社にお問合せください。
●浴槽の一部が茶色く変色した	➡ 水道水に含まれている鉄分により浴槽の一部が茶色く変色する場合があります。浴槽メーカーにお問合せください。
●チェーンなどのメッキがはがれた	➡ 浴槽内の金属部については、錆びる場合があります。なるべくステンレス製の部品をご使用ください。

お知らせ

3 本体の異常表示とお知らせ表示

表示例	原因	処置方法 (1)	処置方法(2)
	転倒スイッチの作動	本体の傾きを直してください。	※ 1
	水温センサーの故障	販売店またはお客様相談室にご連絡ください。	※ 1
	ヒーターの加熱防止装置の作動	ろ材、本体配管などを洗浄してください。 (P. 25～28 参照) それでも繰返し発生する場合は、販売店またはお客様相談室にご連絡ください。	※ 1
	熱殺菌中にヒーターの加熱防止装置が作動 ※熱殺菌を中止し、通常運転に戻り運転を継続しますが、翌日10時に再度熱殺菌を自動で行うまで、熱殺菌LEDは点滅します。		
	呼び水不足 本体内空気混入	再度呼び水を行ってください。(P.14参照)	※ 1
	トップフィルターの目詰り	トップフィルターの洗浄を行うか交換してください。(P. 23 参照)	※ 1
	ろ材、本体配管トップフィルターケースなどの目詰り	ろ材、本体配管などを洗浄してください。 (P. 25～28 参照)	※ 1
	三方弁の異常	販売店またはお客様相談室にご連絡ください。	※ 1
	ヒーターリレーの異常	販売店またはお客様相談室にご連絡ください。	※ 1
	ヒーターの断線	販売店またはお客様相談室にご連絡ください。	
	熱殺菌の異常	熱殺菌温度に達しないとき。 ※バスケットキャップからの水漏れがないか確認してください。	※ 1
	漏電保護プラグの抜け	漏電保護プラグをコンセントに差込んでください。	—
	配電盤の遮断ブレーカーの作動	他の機器との併用をやめ、ブレーカーを復帰させてください。	—
	漏電保護プラグの作動	漏電保護プラグのリセットスイッチ(入)を押してください。リセット後運転が継続すれば問題ありませんが運転が継続しない場合は漏電している恐れがありますので、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き販売店またはお客様相談室にご連絡ください。(P.30,36参照)	—
UVリセットランプ点滅	紫外線ランプ交換のお知らせ	紫外線ランプご購入後、交換してください。 交換後はUVリセットボタンを押してください。 (P.29～30参照)	—
	熱殺菌中のお知らせ	熱殺菌中に表示します。異常ではありません。 (P.17～18参照)	—
	浴水温 34℃ 以下の表示	浴槽水の温度が 34℃ 以下の時に表示します。 (P.16参照)	—
	点灯の場合 水温47℃以上の作動	浴水の温度を設定温度付近まで下げてください。	※ 1
	点滅の場合	熱殺菌終了後の排水中に表示します。異常ではありません。	—

3 本体の異常表示とお知らせ表示 つづき

表示例	原因	処置方法 (1)	処置方法(2)
5℃と現在温度の交互表示点滅	本機をご使用頂いてから8年以上経過しています。	販売店またはお客様相談室にご連絡ください。	—
	例：設定温度と現在温度が41℃のときは  交互に点滅します。 ⚠ 注意 運転は停止せず機能も維持するため、そのままご使用することも可能ですが、長期間安全にご使用いただくため、経年劣化等による製品事故を防止するためのお知らせです。この表示がでたら、早めに点検をご依頼ください。（点検は有料です。） ※本機は「長期使用製品安全点検制度」の特定保守製品には含まれておりませんが、長期間にわたり浴室内でご使用いただく製品のため、点検をおすすめしています。 ※点検は製品の経年劣化を確認するためのもので、修理・補修が必要な場合は別途費用が掛かります。 また、この点検はその後の製品の性能や機能を保証するものではありません。		

お願い

処置方法(2)の※1は運転／停止ボタンを一度押すことでエラー表示を解除できます。解除後再度運転／停止ボタンを押し運転が再開できればそのままご利用ください。運転が再開せず再度エラー表示が点滅したときは漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店またはお客様相談室（P. 36 参照）にお問合せください。

4 長期間ご使用にならないときは

- ①ろ材を「ろ材の洗浄」（P. 25～26 参照）に従って洗浄します。その後、天日で乾燥させ保存してください。
 - ②本体内部を「本体配管などの洗浄」（P. 27～28 参照）に従って洗浄します。
 - ③ 本体内の水は完全に抜けない場合があります。その時はスポンジや雑巾に吸わせるか、市販のドラムポンプ（灯油用）等で抜いてください。
- ◆再びご使用になる場合は、運転準備から（P. 13～15 参照）実施して下さい。

仕様

1 本体の仕様

項目		仕様
型式		BHS02BP2
本体設置場所		浴室内
外形寸法		高さ510×幅450×奥行180mm
本体重量		18Kg（ろ材含む、非通水時）
定格電源		AC100V
定格周波数		50/60Hz
定格消費電力		900 W/h
ヒーター消費電力		750 W/h
殺菌装置		紫外線ランプ（5W24時間）管内加熱処理（10日に1度）
風呂水清浄剤		次亜塩素酸（ふろ水ワグー）を10日ごとに1度1錠投入
浄化方式		バイオ浄化（生物浄化）（球状麦飯石）
水質	濁度	2度以下
	過マンガン酸カリウム消費量	25ppm以下
	大腸菌	1個以下/ml
	ビブリア属菌	不検出/100ml（風呂水清浄剤使用時）
対応のべ人数		7人以下/日
対応浴槽容量		400L 浴槽（湯量320L）まで
温度表示・時計表示		デジタル表示（7セグメント）
温度調節範囲		35℃～45℃、（設定1℃毎）（ヒーターOFF機能）
循環水量調節		なし
お手入れの方法		取扱説明書 P. 22～30
消耗品	トップフィルター（抗菌仕様）	3～6ヶ月または破損時に交換
	紫外線殺菌灯	9～12ヶ月に1回交換
	風呂水清浄剤	2箱消化（400日）後市販品を購入してください。
安全装置		漏電保護プラグ（感知電流6mA）
		ヒーター空焚防止装置（バイメタル+温度ヒューズ）
		ポンプ空運転防止装置（水流センサー）
		温度制御装置（水温センサー）
		自動熱洗浄ロック検知
		水温センサー異常検知
		浴水温度過昇検知
		転倒時機器停止装置（傾斜センサー）
電源コード		7m

アフターサービスについて

保証について

- この製品の保証書は取扱説明書に添付されております。
保証書は、設置施工業者が所定事項を記入しお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保障期間は、お買上げの日から1年間です。ただし、1年以内でも本体・配管、ろ材の洗浄は有料で承ります。
保証内容の詳細につきましては、保証書をご参照ください。
- 保証修理を依頼される場合は、保証書が必要となりますので大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

「浴水ににごり臭いがあるときは」----- P. 31 参照

「故障かなと思ったときは」----- P. 32 参照

「本体の異常表示とお知らせ表示」----- P. 33 参照

をよくご覧のうえ、再度お確かめください

それでも具合の悪いときは漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店またはお客様相談室へご連絡ください。



注意

修理の場合、お買い求めの販売店またはお客様相談室にご相談ください。
※修理に不備があると感電や火災の原因になります。



※保証修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店またはお客様相談室にご相談ください。
修理によって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理を受け賜ります。

補修用部品について

- この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）および機能品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年間です。

消耗品のご購入について

- トップフィルター、紫外線ランプ、ろ材などのご購入については、お買い求めの販売店またはお客様相談室へご連絡ください。
※風呂水清浄剤については市販の「ふろ水ワンダー」をお買い求めください。

アフターサービスまたは、お手入れでお困りのときは

- 修理、移設、商品についてのご相談は、お買い求めの販売店または下記「お客様相談室」にお問合せください。お手入れについては有料で承ります。

お客様相談室電話番号

製造元

株式会社ブライトホームサービス

フリーダイヤル

お問い合わせの通話料は無料です



0120-39-9901

受付時間 土・日・祭日を除く午前9時30分から午後5時まで

設置工事説明書

(指定工事施工業者専用)



警告

設置や移設は、必ず施工業者におまかせください。

機能を十分に発揮できるように次の手順に従って正しい工事を施工してください。

かならず
読んでください

目次	37
安全上の注意事項	38
同梱品一覧	43
設置の方法	44
電源コードの取付け方	
■ 電源コードの浴室外への引き出しについて	46
お客様へのお引渡し	47

- 事前に設置場所、工事内容について、お客様と打ち合せの上、決めてください。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い頂くようにお客様にお伝えください。
特に日常のお手入れについて詳しく説明してください。
- この設置工事説明書は、必ずお客様にお渡しください。

安全上の注意事項

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ設置工事を行ってください。
- ここに示した注意事項の表示と意味は、次のようになっています。

 警告	誤った取り扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定されるもの。
 注意	誤った取り扱いにより、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されるもの。

【表示例】

	●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的行為の表示）が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	△記号は危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

- 設置工事完了後、試験運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの方法を説明してください。また、この設置工事説明書は、取扱説明書とともに、お使いになる方法がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 正しい設置及び正しく使用されなかった場合の製品の故障、事故については、当社は責任を負いませんので、ご了承ください。

安全上の注意事項

警告



設置は専門業者に依頼してください。

●設置が不完全なときは、感電、火災の原因になります。



設置は設置工事説明書に従って確実に行ってください。

●設置が不完全なときは、感電、火災、ユニット落下によるケガ、水漏れの原因になります。



本機の分解や改造を行わないでください。

●ショート、感電、火災、故障の原因になります。

設置場所について



シャワーなどが直接本体にかかりにくい場所に設置してください。

●感電事故の原因になります。



浸水するおそれのある場合は、台を置くなどの処置をしてください。

●浸水すると感電、故障の原因になります。

電源について

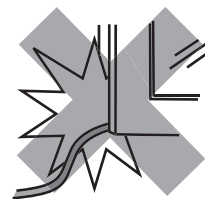


配線工事は、電気設備基準や内線規定に従い、安全に行ってください。

●誤った配線工事は、感電火災の原因になります。



電源コードは、機械的、電氣的に傷をつけないよう浴室外へ引き出してください。壁の貫通やドア、窓のすきまを利用する場合は特に注意し、内線規定に準拠した処理をしてください。



本体電源コードの接続は確実にネジで固定してください。

●不完全な場合、過熱により火災の原因になります。



電源コード、ケーブルをステップルなどで固定しないでください。

●電源コード、ケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。



試運転の前には、必ず漏電保護プラグの動作を確認してください。

●確認していないと、万一の故障や漏電のとき感電や火災の原因になります。

安全上の注意事項

警告

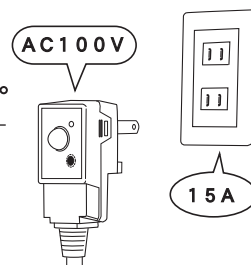
電源について



15A、または20Aの専用コンセントを使用してください。
●ブレーカーが作動したり、火災や故障の原因になることがあります。



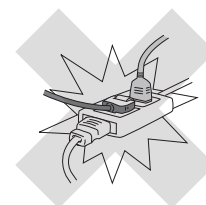
電源は交流100V以外の電圧で使用しないでください。
●故障の原因になります。



漏電保護プラグは確実に電源コンセントに差込んでください。
●感電、火災の原因になることがあります。



電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用
他の機器とタコ足配線をしないでください。
●感電や発熱、火災の原因になることがあります。



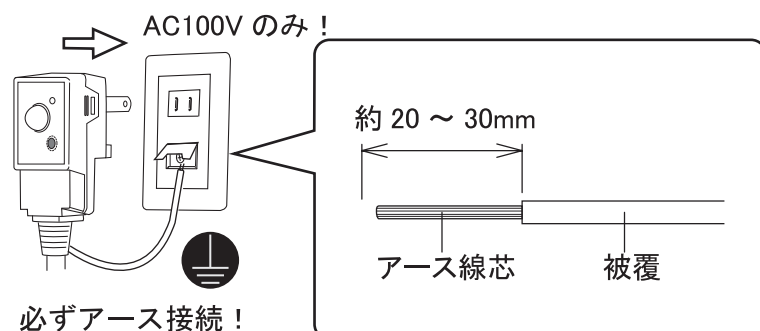
設置工事が完了するまで通電しないでください。
●感電、火災、故障の原因になります。

接地工事について（アース）

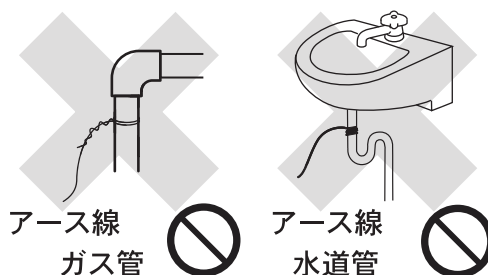


漏電保護プラグのアース線は電源コンセント下部アース端子へ必ず
接続してください。

※電源コンセントにアース端子が無い場合は、電気工事店にアース
工事（D種接地工事）を依頼してください。



アース接続の間違った例



安全上の注意事項

注意

設置場所について



バランス釜や追焚きなどを併用されるときは、本体を設置する前に釜の内部を洗浄してください。また設置後は浴槽内を十分洗浄してからお湯を入れてください。

- 浄化不良や抗菌能力不足の原因になります。



本機を設置する前に浴槽の材質をお客様に確認してください。

- 24時間風呂対応浴槽、ステンレス、タイル、天然石以外の浴槽では、浴水を長時間貯めて継続使用すると、まれに浴槽表面に膨れ、荒れ、変色の起こる場合がありますをお客様に説明してください。



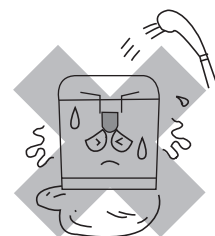
本体は、本体の重量に耐えられる場所に水平に設置してください。

- 設置に不備があると、本体の落下によりケガをすることがあります。



次の場所へは設置しないでください。

- ・給湯器、風呂釜など、高温になる機器のそば。
- ・周囲温度が35℃を超える場所。
- ・頻繁に水のかかる場所。（蛇口の下、シャワーの下など）
- 感電、火災や故障の原因となります。



バランス釜やガス釜などを設置しているときは、泡出しユニットをガス釜などのお湯の出口から10cm以上離して取付けてください。

- 泡出しユニットが変形することがあります。



壁にあげた穴は、シール材、キャップなどで防水処理をしてください。

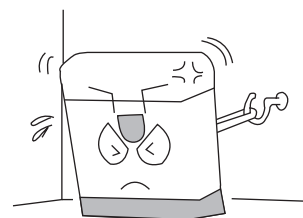
- 不確実な場合は屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

転倒防止について



本体は鎖などで必ず転倒防止を行うと共に水平になるようゴム足で調整し、設置してください。

- 落下、転倒しケガの原因になります。



安全上の注意事項

注意

その他



工事部材は必ず指定のものを使用し、設置工事説明書どおりの工事を行ってください。

- 指定以外の部材を使用した場合、感電、火災、本体落下によるケガ、水漏れ故障の原因になります。



器具についているパッキンやシール材は確実に施工してください。

- 不確実な場合は屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。



ホースやジョイント類は確実に水漏れのないよう接続してください。

- 浴室外に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。
- 熱殺菌時、60℃前後の高温水が排水されますのでやけどをするおそれがあります。

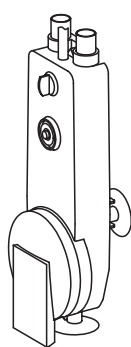
同梱品一覧

■書類など

- ・取扱説明書（設置工事説明書保証書付） 1部
- ・注意・エラー内容表示シール 1枚

■本体部品

泡出しユニット



1セット

水流可変ノズル



1個

ゴムエルボ



2個

樹脂エルボ



4個

ニップル



2個

トップフィルター
（抗菌仕様）



2枚

通水ポンプ



1個

アダプター



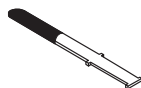
1個

両面テープ



7枚

締付ハンドル



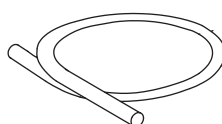
1本

風呂水清浄剤



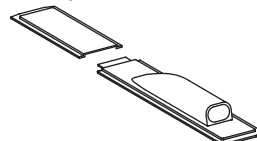
2箱

シリコンホース



2m×1本

ホースカバー



1セット

消音マフラー



1個

球状麦飯石 × 1 袋（石ケース 一本分）

設置の方法

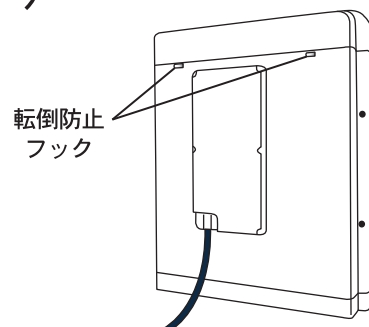
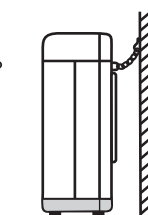
設置上のご注意！

- 泡出しユニットは、フィルターケースが浴槽底面にあたるように配管し取り付けてください。
- 本体は浴水面から±45cm以内の高さで設置してください。

■ 設置の手順（基本的な標準設置の手順です。）

1. 転倒防止のため、本体背面の転倒防止フックを利用し壁に鎖などで固定してください。

※本体と壁面との間を20mm程度離してください。

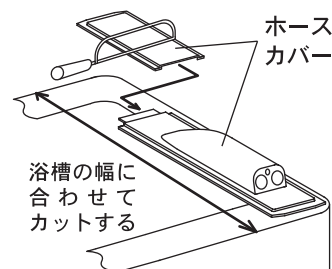


2. ホースカバーを浴槽の幅に合わせてカットしてください。



注意

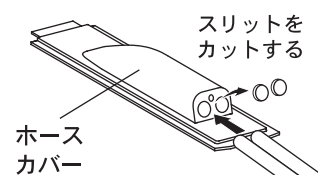
切断面はヤスリ等でバリを取ってください。
※ケガの原因になります。



3. ホースカバーのスリット部を切り取ってシリコンホース2本を通し、ホースカバーの裏面に付属の両面テープを貼り浴槽上縁部へ接着固定してください。

お願い

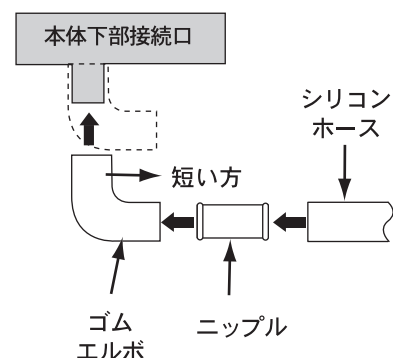
接着面の水分、汚れはきれいにふき取ってください。



4. 各ホースは適当な長さになるところで切ってご使用ください。
5. ホースの配管終了時点で各ホースのつぶれがないかを点検してください。
6. 付属のゴムエルボにニップルを接続し、ホース配管させたい方向に向けて、本体底部のホース接続口へ、奥に当たるまで差込んでください。

お願い

ゴムエルボをエルボ接続口に十分差込んでください。
※不十分なときは、水漏れの原因になります。



つづく

設置の方法

■ 設置の手順

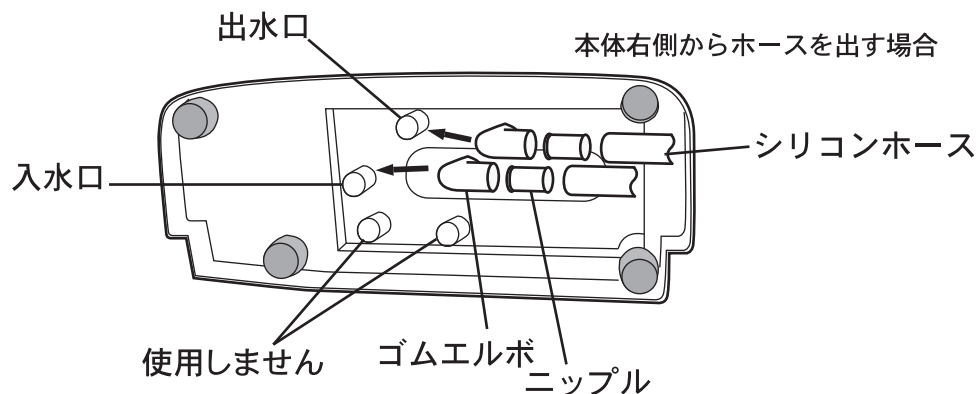
つづき

7. 入水、出水のシリコンホースをそれぞれ、方向を確認してから接続してください。

お願い

接続した本体底部のホースに、無理な力が加わったりしてつぶれなどが無いか確認してください。

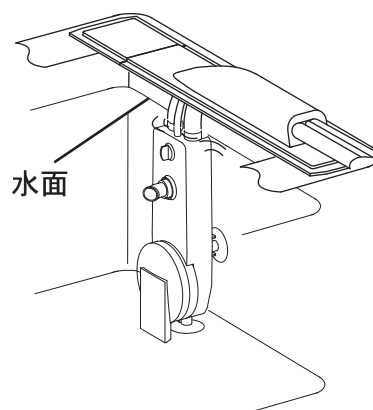
本体下部



8. 泡出しユニットに各ホースを差込み浴槽側面の水没する位置に、それぞれ吸着盤を利用し設置してください。

9. 泡出しユニットのエアホース中間部に消音マフラーをセットしてください。

(負圧でエアを引込む時の音を小さくするため、必ず実施してください)



電源コードの取付け方

1 電源コードの浴室外への引き出しについて

電源コードの浴室外への引き出しについては以下の事に注意してください。

⚠ 注意

コードの貫通部が金属などで、電源コードにキズが付くおそれがあるときには、保護パイプまたは塩ビパイプを使用してください。
※感電や火災の原因になります。

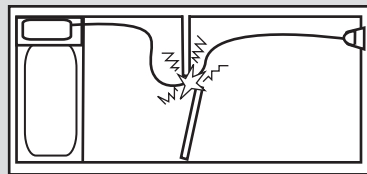
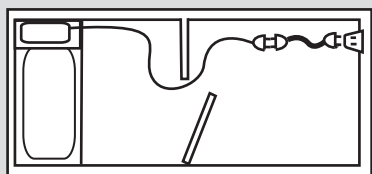


◆電源コードの延長・切断・繋ぎなおしは絶対にしないでください。

※電圧降下により装置の性能が低下する事があります。またコードの種類によっては発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

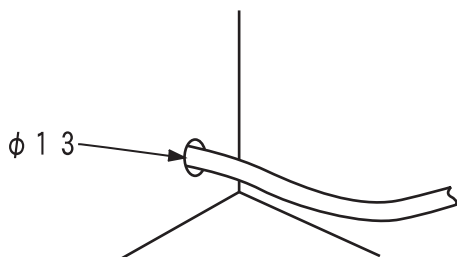
◆電源コード引き出し時の注意

※ドアや戸でコードをはさみ込むとコードがキズ付き、ショートなどの原因となりますのでおやめください。

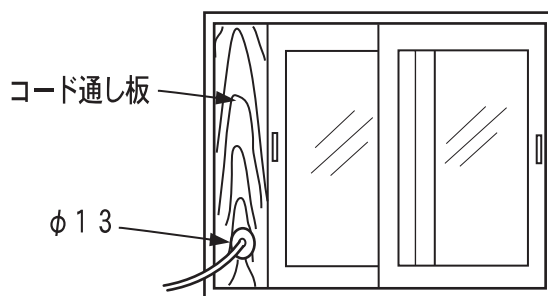


●電源コードの引き出し例

①壁などに穴をあける例



②窓にコードを通し板を設け、屋外へ出す方法



お客様への引渡し

- 1 取扱説明書の「運転方法」(P. 13～15)を参照いただき運転を開始してください。
- 2 取扱説明書に沿って、操作方法、お手入れのしかた、注意していただくことをお客様に説明してください。下記は特に重要なことを記載しております。

説明項目	説明内容(★は安全上、特に重要な事項)	参照ページ
通常浄化運転	運転のしかた、温度設定のしかた	13～16
自動熱殺菌	熱殺菌ランプ点灯で自動殺菌設定、「CL」表示で熱殺菌中であることをお知らせします。	17,18
	熱殺菌中は浄化、保温されません。	
	★熱殺菌終了時は約60℃の高温水が浴槽内に断続的に排水されます。	
	★高温水が排水されるとき、アラーム(ピピ音)で警告します。	
泡出し運転	★特に運転初期には泡を出す(浄化促進)	19
お手入れ	毎日トップフィルターの洗浄、浴槽内の清掃をしてください。	23
	トップフィルターケースの掃除をしてください。	24
	1ヶ月ごとにお湯を入れ替えてください。	30
	3～6ヶ月ごとにろ材、本体、配管などの洗浄を行ってください。	25～28
	9～12ヶ月に1回紫外線ランプを交換してください。	29,30

[illegible]

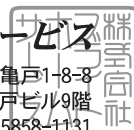
ホームバス 保証書

必ずお読みください。

1. 保証の範囲 取扱説明書の注意事項に従った正常な取付・使用状態で故障し、下記2に定める期間内に修理依頼された場合、これを無料修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」といいます。）
2. 保証期間 お買上げいただきました日から1年間といたします。
3. 保証修理の受け方 保証修理は、お買上げいただきました販売店に保証書（以下、「本書」といいます。）をご提示のうえお申しつけください。尚、ご転居の場合は、事前にお買上げ販売店にご相談ください。
4. 保証の適用除外
 - (1) つぎに示す損傷または故障の場合は、保証期間内であっても有料修理になります。
 - (イ) 取付・使用上の誤り及び不当な修理や改造による損傷または故障の場合。
 - (ロ) お買上げ後の輸送、移動、落下等による損傷または故障の場合。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、その他の天変地異や公害等による損傷または故障の場合。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば車両、船舶への搭載）に使用された場合の損傷または故障の場合。
 - (2) つぎに示すものの費用は負担いたしません。
 - (イ) 点検・調整・清掃。
 - (ロ) 消耗品および本機付属品。
 - (ハ) 商品を使用できなかった事による不便さ及び損失等。
 - (3) 本書のご提示がない場合、または本書の所定事項が未記入、あるいは字句を修正された場合は保証期間内であっても有料修理となります。
5. 保証の適用 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in JAPAN）
6. その他 本書は、本書に明示した期間、条件のもとで保証修理をお約束するものです。従って、本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問合せください。

株式会社ブライトホームサービス

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-8-8
大樹生命亀戸ビル9階
TEL 03-5858-1131



保証書

ご愛用者	ご芳名 様	ご住所	TEL — —
製品名 型式	ホームバス BHS02BP2	保証期間	お買上げ日 年 月 日より 満1ヶ年間
販売店	店名	製造番号	
	住所	サービス センター	店名 住所
	TEL () —		TEL () —

設置日

販売店名

TEL

取付工事店名

TEL

製造番号

製造元 **株式会社ブライトホームサービス**

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-8-8
大樹生命亀戸ビル9階